

令和5年3月31日
中部地方整備局

令和5年度中部地方整備局関係予算の概要について

配分総額： 7,601億円

令和5年度中部地方整備局関係配分予算は、中部圏経済の持続的な成長や国民の命と暮らしを守り抜くため、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり」の3点を柱に、人びとの暮らしや国際競争力強化を支えるインフラ整備・国土強靱化を強力に推進します。

1. 添付資料

令和5年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局WEBサイトにも掲載されております。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/R5.htm>

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、山梨県政記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

3. 問合せ先 国土交通省

中部地方整備局

< 総 括 >	企 画 課 長	小川 達也	電話	052-953-8127
	会 計 課 長	有賀 篤	電話	052-953-8136
< 公園関係 >	都 市 整 備 課 長	大島 常生	電話	052-953-8573
< 住宅関係 >	住 宅 整 備 課 長	小林 真大	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	河 川 計 画 課 長	武田 正太郎	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道 路 計 画 課 長	高見 泰彦	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港 湾 計 画 課 長	渡邊 弘	電話	052-209-6321
< 海岸関係 >	河 川 計 画 課 長	武田 正太郎	電話	052-953-8148
	港 湾 計 画 課 長	渡邊 弘	電話	052-209-6321
< 官庁営繕関係 >	計 画 課 長	田中 幸一	電話	052-953-8185

令和5年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和5年3月

国土交通省中部地方整備局

令和5年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和5年度 中部地方整備局関係予算の基本方針	P. 1
2. 令和5年度 中部地方整備局関係予算の配分額	P. 7
3. 実施事例	
3-1. 実施事例（位置図）	P. 8
3-2. 整備事例（個 票）	P. 11
3-3. 施策事例（個 票）	P. 62
4. 県別の整備箇所事例一覧	P. 63
(参考資料)	
令和5年度の道路調査の見通しについて	P. 68

1. 令和5年度 中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和5年度中部地方整備局関係予算については、豪雨や大雪等の自然災害の激甚化・頻発化や、カーボンニュートラルの実現に向けたGX、イノベーション創出や新規創業等に資するDXの加速等の課題に適切に対応する一方、中部圏経済の持続的な成長や国民の命と暮らしを守り抜くため、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり」の3点を柱に、人びとの暮らしや国際競争力強化を支えるインフラ整備・国土強靱化を強力に推進します。また、令和4年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図ります。

①国民の安全・安心の確保

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりのため、あらゆる関係者が協働して行う「流域治水対策」、切迫する南海トラフ巨大地震、線状降水帯、豪雪等災害時における人流・物流の確保のための交通ネットワーク整備、盛土の安全確保対策の推進、インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナスの実現等に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。

■由比地区では、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



由比地区地すべり対策事業

■庄内川では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町等が一体となって、狭窄部対策として県道枇杷島橋の架け替えを推進します。

■天竜川では、国・県・市町村等が連携し、下伊那郡高森町山吹地区において引き続き堤防整備を実施するとともに、洪水被害を最小限とするための水防拠点となるMIZBEステーションの整備に着手します

■牧田川では、国・県・大垣市が連携し、水門川の内水安全度の向上を図るため、鵜森三郷排水樋門の整備等に着手し、木曾川上流特定構造物改築事業（新水門川排水機場）を推進します。



木曾川上流特定構造物改築事業(イメージ図)

■狩野川では、清水町、長泉町等を流れる支川黄瀬川の安全度向上を図るため、堤防高が不足する箇所において、引き続き築堤護岸整備を実施します。

■宮川では、国・県・市が連携し、勢田川流域の治水安全度向上を図るため、河道掘削を実施するとともに、桧尻川排水機場のポンプ増強（桧尻川切り回し）を推進します。

■ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダムでは、治水安全度の向上に向け、本体工事を推進するとともに、引き続き、付替道路工事等を推進します。



新丸山ダム建設事業(イメージ図)

■設楽ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、本体及び関連工事を推進するとともに、引き続き、付替道路工事等を推進します。

■三峰川総合開発事業では、治水安全度の向上に向け、既設美和ダムの洪水調節機能を強化するとともにその機能を保全する堆砂対策を令和5年度に完了します。

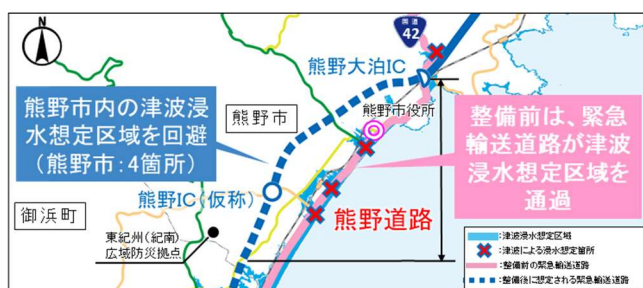


天竜川中流地区地すべり対策事業

■天竜川中流地区では、近年の豪雨の増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により地すべりの発生リスクが高まっているため、引き続き、地すべり対策を推進します。

■国土強靱化に資する高規格道路のミッシングリンクを解消し、地域の防災機能強化を図ることで、国民の安全・安心を確保するため、国道42号熊野道路、紀宝熊野道路の整備を推進します。

■近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえて、強靱で信頼性の高い高規格道路ネットワークを構築し、災害時の代替機能を発揮する三遠南信自動車道の整備を推進します。また東海北陸自動車道と国道41号のダブルネットワークの代替性を補完する東西軸の強化等を目的に、国道256号堀越峠道路を新たに事業化します。



国道42号熊野道路
津波浸水想定区域を回避



国道256号堀越峠道路
ダブルネットワークの代替性を補完

■道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を推進します。



【対策事例】床版上面の断面補修

■大規模地震による落橋・倒壊の防止に加え、路面に大きな段差が生じないように、橋梁の耐震対策を推進します。



【対策事例】橋梁の耐震補強

■道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光の観点から、無電柱化を推進します。



【整備事例】国道138号 須走電線共同溝

■津松^{つまつさか}阪港海岸では背後の生命と財産を守るため、伊勢湾台風を契機に整備された既存海岸堤防の老朽化対策及び耐震対策を推進します。

■港湾施設（岸壁、防波堤）の経年劣化が進行している

ため、定期点検等の結果を踏まえ、将来にわたり港湾施設の機能を発揮できるよう老朽化対策を推進します。

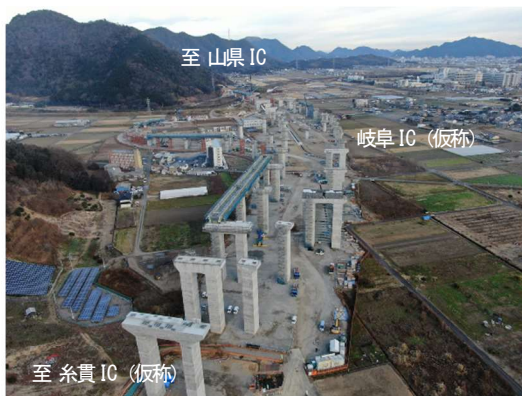
■津波来襲時の背後地域の浸水被害低減及び来襲後の港内静穏度確保のため、清水^{しみず}港外港地区、御前崎^{おまえざき}港女岩^{めいわ}地区及び衣浦^{きぬら}港外港地区において、防波堤の「粘り強い化」を推進します。

■官庁施設について、所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋^{なごや}第4地方合同庁舎の整備を推進します。

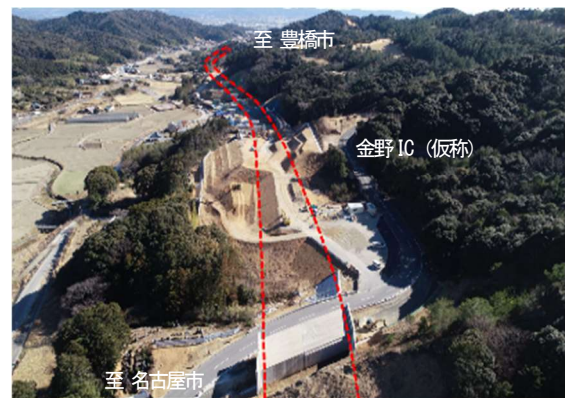
②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

現在を生きる我々や将来世代が安全・安心に活力ある日々を送るため、ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進、グリーンインフラの推進、技術開発、働き方改革や国際競争力の強化に取り組みます。

- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保し、サプライチェーンの強靱化や物流の生産性向上、また民間需要が喚起され、沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援する^{とうかいかんじょう} 東海環状自動車道のR8年度までの全線開通を目指し整備を推進します。
- 企業進出や新たな工業団地の開発等を進展し、道路と港湾の連携により地域産業の活性化に寄与している^{がまごおり} 国道23号蒲郡バイパスのR6年度全線開通（名豊道路全線開通）^{めいほう} を目指し整備を推進します。
- 生活交通と通過交通を分離することで、交通混雑を解消するとともに、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化により物流・観光振興を支援する国道153号飯田南バイパス^{いいだみなみ} を新たに事業化します。



東海環状自動車道



蒲郡バイパス

③豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり

豊かで活力ある地方を創るため、良好な環境や景観等を備えた、持続可能で賑わいのある地域、魅力ある地域づくりを促進します。

■^{たじみ とよおか}多治見市^{しやうない とぎ}豊岡地区上流部水辺整備(庄内川水系土岐川)では、国と多治見市が連携し散策路や多目的広場等の整備に着手し、アウトドアや環境学習、マルシェ、散策、ジョギングなど賑わいのある地域づくりを推進します。

■^{きんてつよっかいち}近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する^{きんてつよっかいちえき}国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

■道路ネットワークの確保による観光振興等の支援として伊豆縦貫自動車道の整備を推進、^{あまぎとうげ}天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)を新たに事業化します。

■観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムの推進として、日本における新たな観光価値を創造し地域の創生を図るため、ナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道の走行・受入環境の更なる充実を図るための整備を推進するとともに、都市部においても安全で快適な自転車利用環境の創出を推進します。



近鉄四日市駅前(中央通り)の状況
(国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業)



太平洋岸自転車道
国道42号(三重県御浜町)

■安全で安心な道路空間を確保するため、事故データや地方公共団体・地域住民からの指摘等に基づき選定された交通事故の危険性が高い『事故危険区間』の対策を推進するとともに、教育委員会、警察等と連携した通学路合同点検に基づく対策を速やかに実施し、通学路における交通安全を一層確保します。



【整備事例】車両から見た歩行者の見通しを改善

■ものづくり産業を支える物流機能や生産性の向上、国際競争力強化を図るため、^{なごや とびしま}名古屋港飛島ふ頭地区、^{しみず しんおきつ}清水港新興津地区、^{よっかいち かすみがうら}四日市港霞ヶ浦地区の港湾機能の強化を推進します。



名古屋港ふ頭再編整備事業
(飛島ふ頭地区)



清水港新興津地区
国際物流ターミナル整備事業



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業

■^{きそさんせんこうえん}国営木曾三川公園のさらなる利用促進を図るため、^{きそさんせんこうえん}木曾三川公園センターの再整備等を推進します。

＜中部地方整備局関係予算の配分額＞

配分事業費 7,601億円

内 訳 (歳出 : 直轄 2,985億円)
補助等 4,615億円)

国庫債務負担行為(ゼロ国債) 134億円

内 訳 (歳出 : 直轄 130億円)
補助等 4億円)

(注)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 令和5年度 中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R5年度					R4年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	65,218	19,665	84,883	6,699	65	61,314	18,219	79,533
海 岸	1,893	0	1,893	288	0	3,041	0	3,041
道 路	119,389	67,518	186,907	5,501	280	123,209	66,160	189,369
港 湾	20,782	0	20,782	0	0	17,956	0	17,956
都市水環境 整 備	246	853	1,099	169	0	344	819	1,162
国営公園等	1,891	0	1,891	0	0	1,858	0	1,858
官庁営繕	0	1,054	1,054	0	0	0	980	980
合 計	209,419	89,090	298,509	12,656	345	207,721	86,178	293,899

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R5年度					R4年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	18,345	0	18,345	0	0	20,440	0	20,440
海 岸	2,244	160	2,404	0	0	1,784	44	1,828
道 路	91,695	0	91,695	0	0	84,595	0	84,595
港 湾	4,819	1,015	5,834	0	410	4,313	445	4,758
空港整備	956	0	956	0	0	313	0	313
住宅対策	0	6,122	6,122	0	0	0	6,219	6,219
市街地整備	25,192	0	25,192	0	0	20,960	0	20,960
下水道	11,463	7,822	19,286	0	0	8,410	6,141	14,552
国営公園等	1,756	0	1,756	0	0	2,242	0	2,242
社会資本整備 総合交付金	143,210	0	143,210	0	0	144,605	0	144,605
防災・安全 交付金	146,629	0	146,629	0	0	149,819	0	149,819
推進費等	118	0	118	0	0	77	0	77
合 計	446,428	15,119	461,547	0	410	437,559	12,849	450,409

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R5年度					R4年度		
	補助	交付金	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		補助	交付金	計
				平準化等	事業加速円滑化			
岐阜県	21,804	40,543	62,347	0	0	24,480	38,123	62,603
静岡県	47,946	73,807	121,753	0	0	39,433	70,007	109,440
愛知県	80,367	126,669	207,036	0	410	71,461	137,223	208,684
三重県	21,591	48,820	70,412	0	0	20,610	49,072	69,682
合 計	171,708	289,839	461,547	0	410	155,985	294,424	450,409

(注1) 数字は、事業費ベースです。

(注2) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計です。

(注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4) 本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5) 当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

(注6) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)の「平準化等」は公共工事等の実施の時期の平準化等を図るためのものさし、「事業加速円滑化」は防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づく事業等について計画的かつ円滑な事業執行を図るためのものをさします。

3-1. 実施事例(位置図) R5年度 新規事業箇所

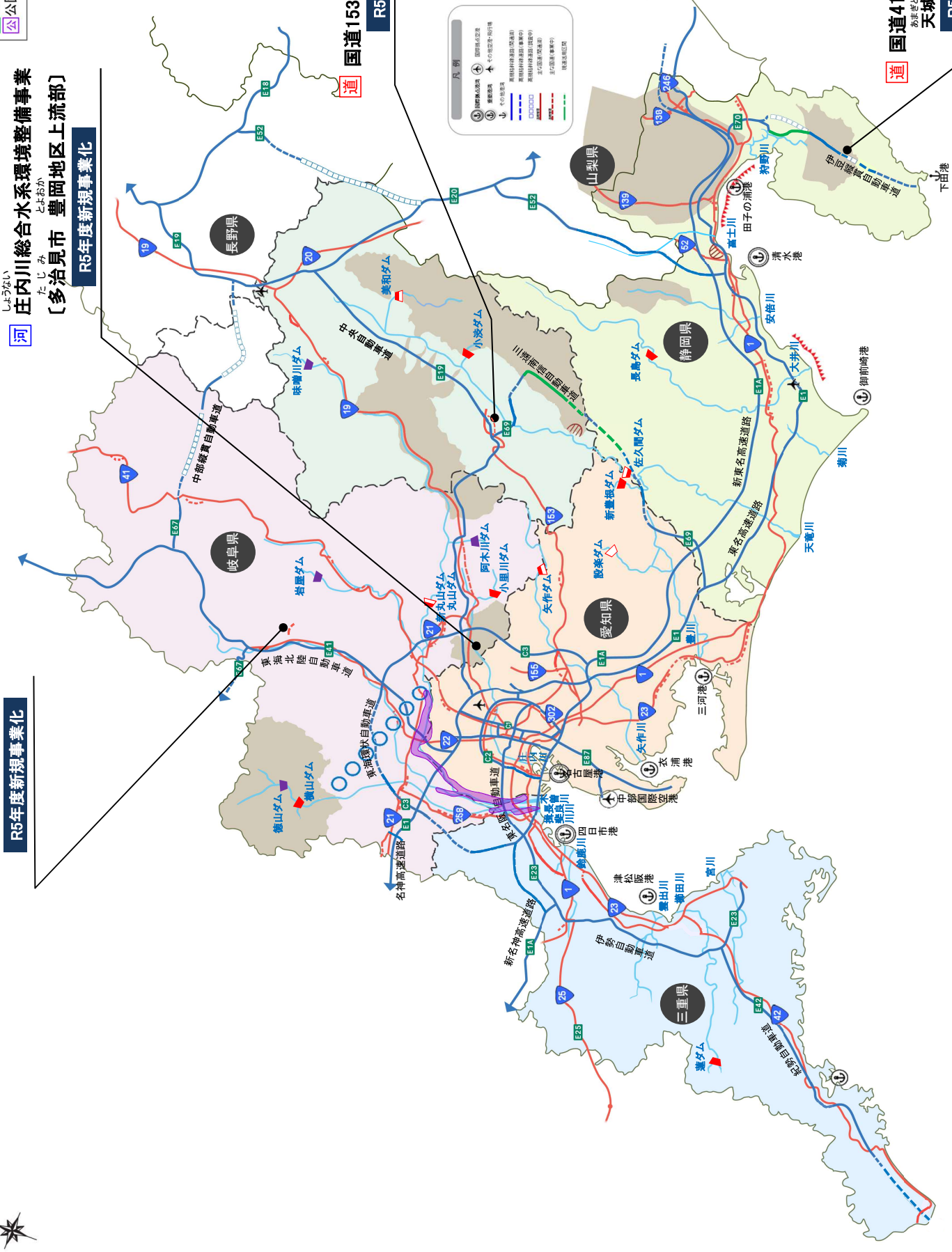
- 河川関係
- 道路関係
- 港湾関係
- 海浜関係
- 公園関係
- 官庁官署関係

庄内川総合水系環境整備事業
〔多治見市 豊岡地区上流部〕
R5年度新規事業化

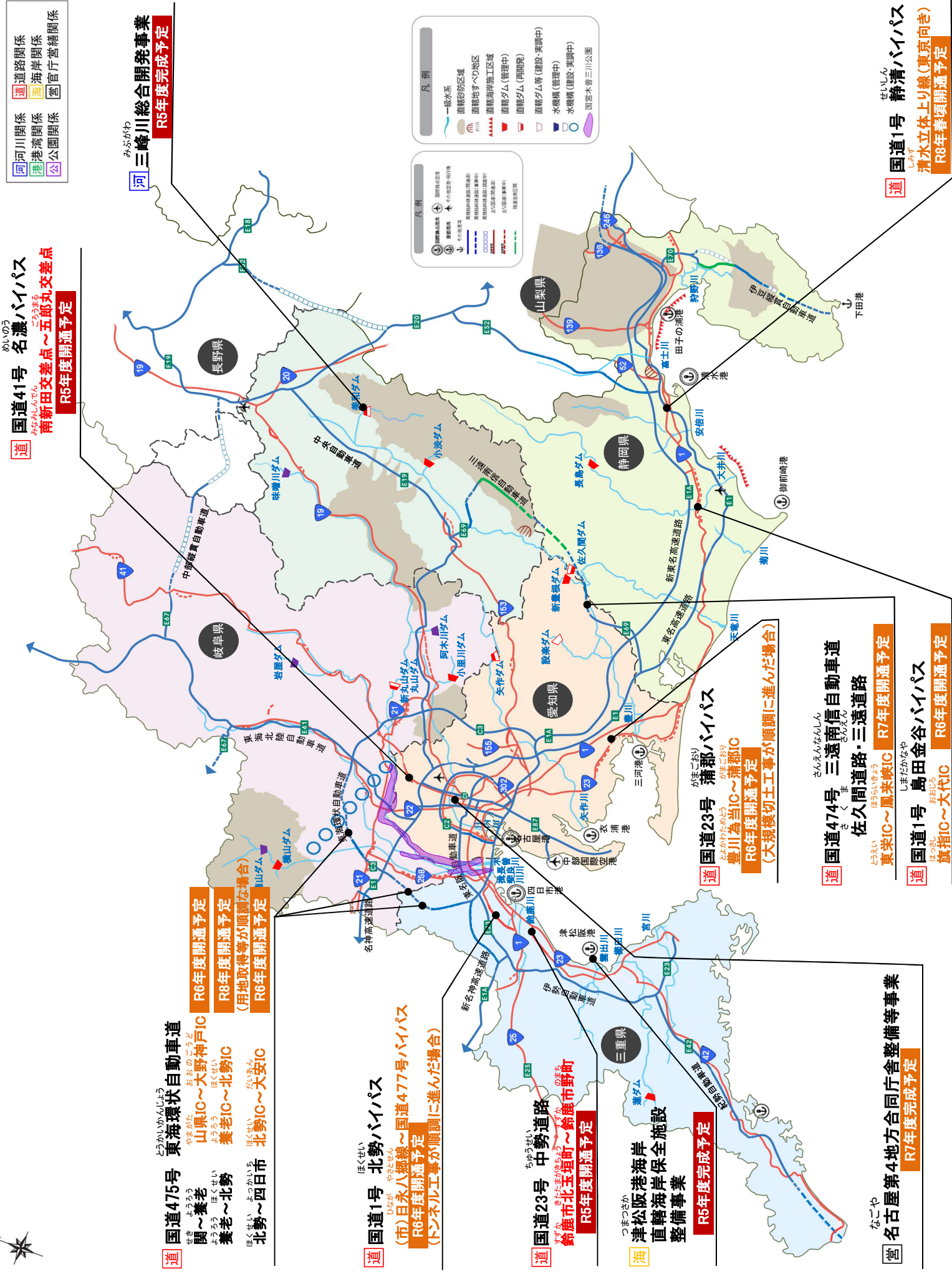
国道256号 堀越峠道路
R5年度新規事業化

飯田南バイパス
R5年度新規事業化

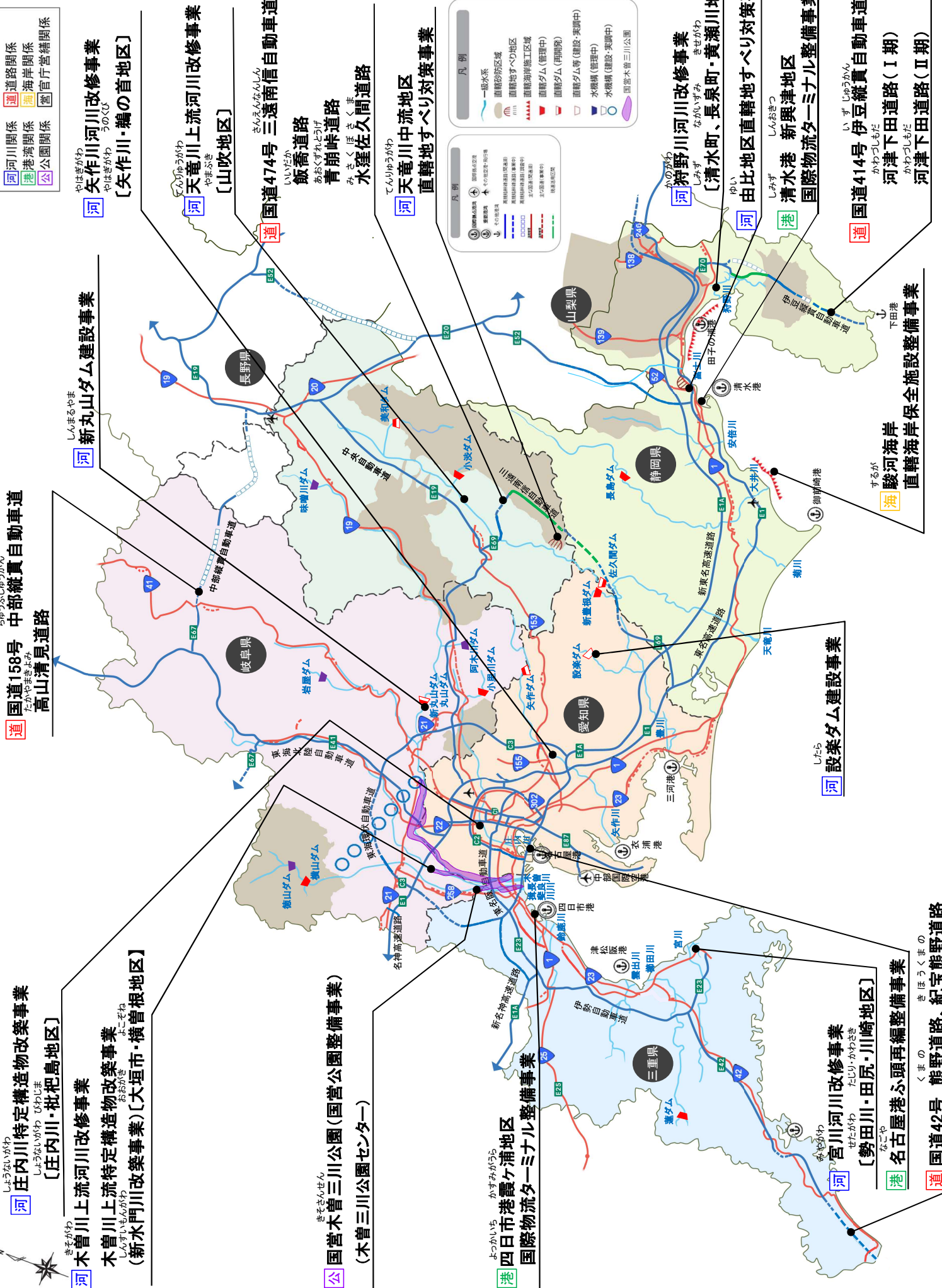
伊豆縦貫自動車道
天城峠道路(月分瀬~茅野)
R5年度新規事業化



3-1. 実施事例(位置図) R5年度完成事業、今後の完成予定事業



3-1. 実施事例(位置図) 主な継続事業



3-2. 整備事例（個 票）

（岐阜県）

- 岐 1 【河川】 きそがわ 木曾川上流河川事業
- 岐 2 【河川】 しょうないがわ 庄内川総合水系環境整備事業
- 岐 3 【河川】 しんまるやま 新丸山ダム建設事業
- 岐 4 【道路】 国道 475 号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道 ほか
- 岐 5 【公園】 きそさんせん 国営木曾三川公園

（静岡県）

- 静 1 【河川】 かのがわ 狩野川河川改修事業
- 静 2 【河川】 ゆい 由比地区 直轄地すべり対策事業
- 静 3 【海岸】 するが 駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業
- 静 4 【道路】 国道 1 号 国道 414 号 いずじゅうかん 伊豆縦貫自動車道 ほか
- 静 5 【港湾】 しみず しんおきつ 清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

（愛知県）

- 愛 1 【河川】 やはぎがわ 矢作川河川改修事業
- 愛 2 【河川】 しょうないがわ 庄内川河川改修事業
- 愛 3 【河川】 したら 設楽ダム建設事業
- 愛 4 【道路】 国道 474 号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道 ほか
- 愛 5 【港湾】 なごや 名古屋港ふ頭再編整備事業
- 愛 6 【営繕】 なごや 名古屋第 4 地方合同庁舎整備等事業

（三重県）

- 三 1 【河川】 みやがわ 宮川河川改修事業
- 三 2 【道路】 国道 475 号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道 ほか
- 三 3 【港湾】 よっかいち かすみがうら 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業
- 三 4 【海岸】 つまつさか 津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業

（長野県）

- 長 1 【河川】 てんりゅうがわ 天竜川上流河川改修事業
- 長 2 【河川】 みぶがわ 三峰川総合開発事業
- 長 3 【河川】 てんりゅうがわ 天竜川中流地区 直轄地すべり対策事業
- 長 4 【道路】 国道 474 号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道 ほか

木曽川上流河川事業

木曽川上流特定構造物改築事業[横曽根地区] (木曽川水系)

令和5年度当初:34.7億円

(岐阜県分:32.1億円、愛知県分2.6億円)

1. 事業の必要性及び概要

新・旧水門川排水機場が位置する牧田川左岸堤防は、計画堤防断面に対して現況堤防の断面及び高さが不足しています。また、そこに整備されている複数の排水機場は、老朽化が著しく、出水時に機能停止すれば、広範囲で浸水被害の発生が想定されます。そのため、排水機場の更新、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図ります。

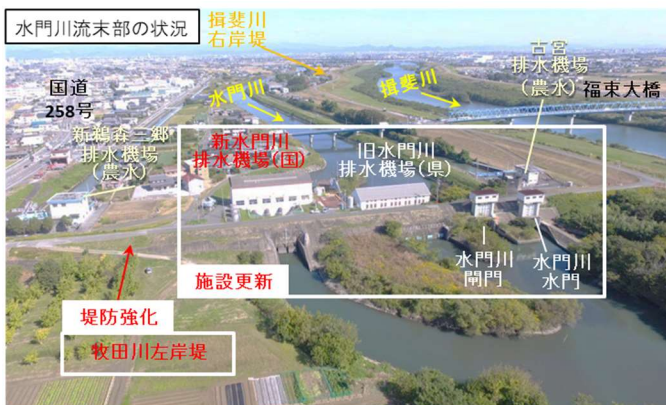
2. 事業箇所

岐阜県大垣市

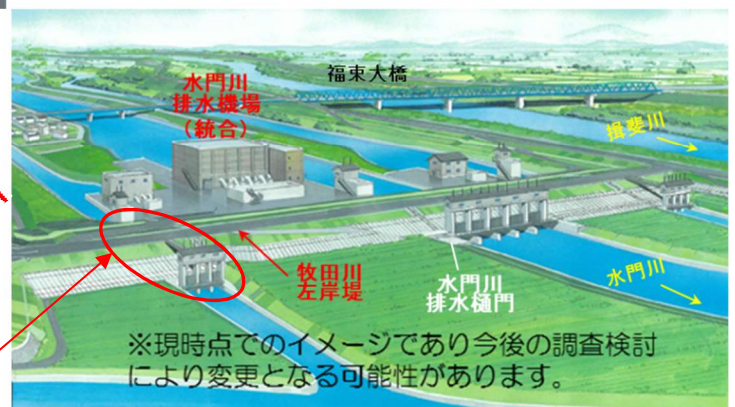


3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、鷺森三郷排水樋門等の整備を実施します。(木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場))



排水機場(統合案)イメージ図



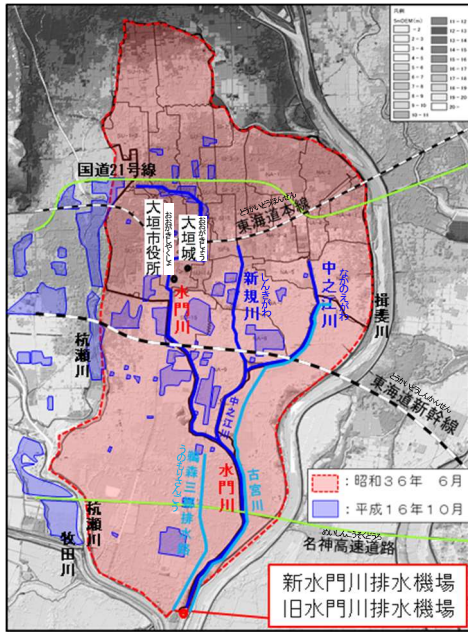
施設改築後 鷺森三郷排水樋門

※現時点でのイメージであり今後の調査検討により変更となる可能性があります。

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 昭和36年6月洪水をはじめ、近年(平成16年10月、平成25年9月)の洪水においても、水門川流域で大規模な浸水被害が発生しています。



出典:「岐阜県提供資料」

◆ 浸水実績図

(昭和36年6月洪水, 平成16年10月洪水)



出典:「一級河川木曾川水系 牧田川圏域河川整備計画(付属資料・治水計画編) 水門川治水計画、岐阜県」

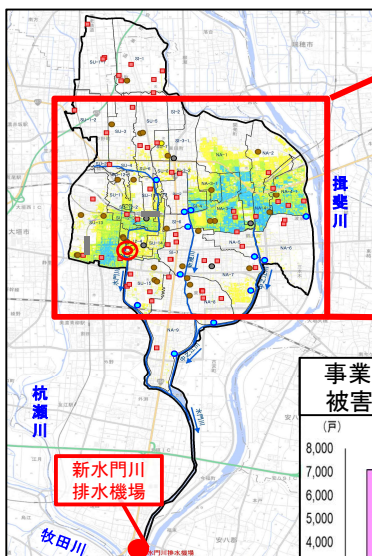
◆ 水門川(八島地区)の浸水状況(平成16年10月洪水)



◆ 牧田川、杭瀬川、揖斐川の出水状況(平成16年10月洪水)

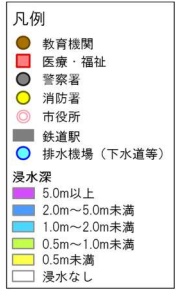
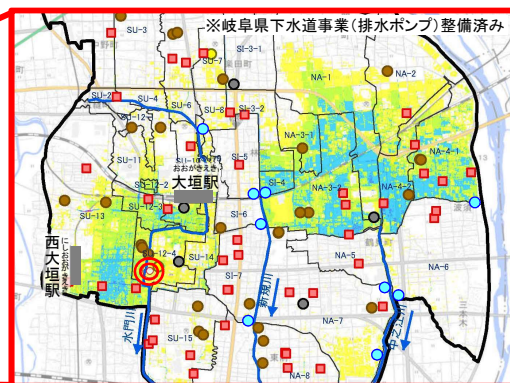
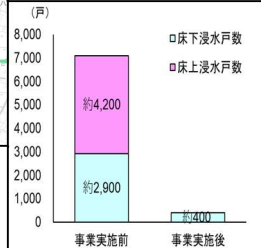
- 昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約7,100世帯の被害が想定されます。
- 本事業により、昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約400世帯に減少し、床上浸水被害が解消されます。

昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域及び重要施設位置



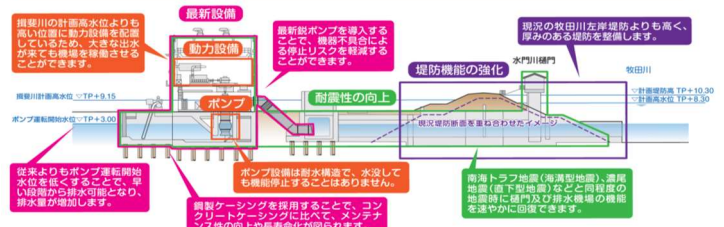
背景図出典: 国土地理院(淡色地図)

事業実施による浸水被害軽減効果グラフ



【対策】

- 1 最新鋭ポンプ導入による洪水初期の排水能力強化、機器停止リスクの軽減、長寿命化
- 2 動力設備のかさあげ、耐水構造の強化により、排水機場周辺が浸水しても機能停止しない
- 3 耐震性が向上(南海トラフ地震と同程度の地震発生時に樋門及び排水機場の機能を速やかに回復)
- 4 牧田川左岸堤防の整備(堤防の高さと厚みを十分に確保)



しょうないがわ たじみ とよおかちくじょうりゆうぶ
庄内川総合水系環境整備事業[多治見市・豊岡地区上流部水辺整備事業]
(庄内川水系)

令和5年度当初:0.6億円

1. 事業の必要性及び概要

土岐川は、多治見市の中心を流れる河川として、古くから沿川地域の生活に密着し、親しまれ、地域住民の憩いの場となっています。

多治見市では、近年、駅北において虎渓用水広場(河川水を活かした多目的広場)や多治見エコカレッジなど土岐川観察館や地元団体、高校等との連携による土岐川を活用したイベント等が実施されるなど、土岐川を活かしたまちづくりの機運が高まっています。

まちづくりを更に推進するため、土岐川を活かした新たなまちの魅力づくりや隣接する福祉施設利用者へ配慮した多目的広場や、まちの回遊性を更に向上させるための散策路の整備等に取り組みます。

2. 事業箇所 岐阜県多治見市



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況
令和5年度より新規着手(基盤整備等)します。

■整備イメージ



4. 整備効果

重点:③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

まちと水辺が一体となった魅力ある空間の創出

- 散策路を整備することにより、駅や周辺の商業施設などと連続した利用が可能になり土岐川沿川の日常的利用者数が増加するなど、川とまちなかの回遊性向上が期待される。
- 多目的広場を整備することにより、河川敷を安全・便利に利用できるようになり、アウトドアや環境学習、マルシェやなどのイベントに活用でき、利用者や観光客の増加につながる。
- 散歩やジョギング、自然観察などでの利用など、市民がいきいきと暮らせる親しみやすい水辺空間が形成され、市民の散策利用の促進に寄与するなど、健康・福祉のまちづくりの推進に寄与する。

現在 now

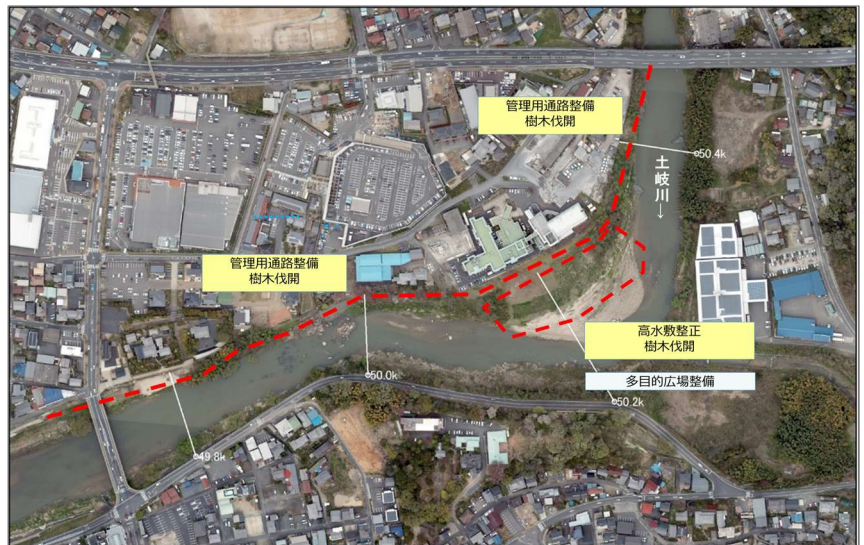


整備されていないため川沿いを歩くことができない



樹木等が繁茂し、水辺を安全に利用することが出来ない

■整備内容



整備内容は、一部変更となる場合があります

土岐川の豊岡地区では、既存のかわまちづくりにより記念橋下流までの散策路が整備され散策やジョギング、自然観察等に利用されているが、記念橋より上流については、整備されておらず、人の従来が困難となっている。

国と市が連携を図り、賑わいのある水辺空間を創出

将来 future

多目的広場整備 (市)

高水敷整正 (国)
樹木伐開 (国)

管理用通路整備 (国)



水辺空間の活用イメージ(整備後)

しんまるやま
新丸山ダム建設事業

令和5年度当初:132.5億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸:岐阜県加茂郡八百津町
左岸:岐阜県可児郡御嵩町
(木曾川水系木曾川)



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、ダム本体工事及び付替道路工事等を推進します。



新丸山ダム完成予想図



付替道路418号(潮見地区)

新丸山ダム本体付近施工状況



転流工呑口部施工状況



転流工吐口部施工状況

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水が越水したことにより、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。新丸山ダムの整備と合わせ河川改修することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。



昭和58年9月洪水での浸水範囲

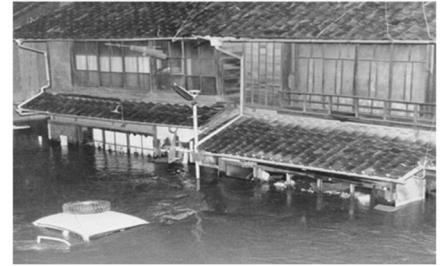


写真1:軒下まで浸水した家屋



写真2:消防団員により救出される被災者

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮となります。

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分

付替国道418号(丸山バイパス)経由：約35分

また、社会インフラを活用した地域振興の取組として、付替道路事業として建設した「新旅足橋」で八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジー・ジャンプ開始しています。



4. 整備効果

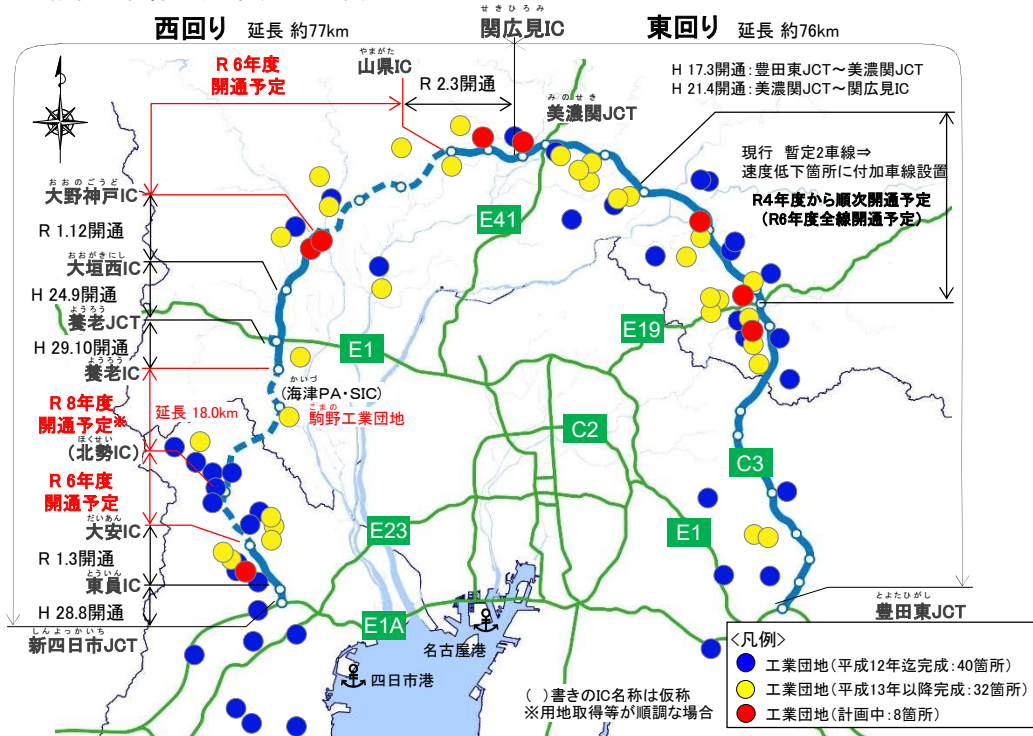
重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

(東海環状自動車道)

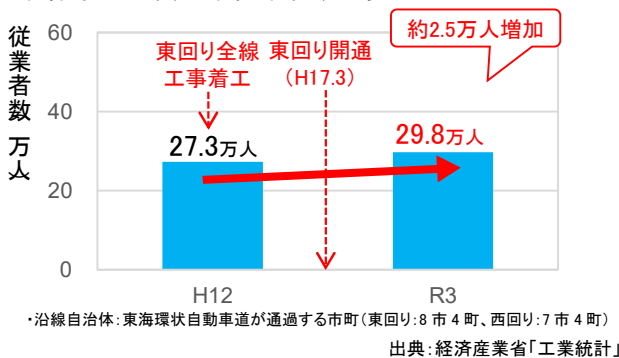
民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- 東海環状自動車道の整備進展に伴い、沿線地域の民間需要を喚起し、沿線地域の従業者数は約2.5万人増加、製造品出荷額等は約1.6倍増加。
- 沿線地域の工業団地数は約1.8倍増加。西回り沿線の駒野工業団地では全区画の進出企業が決定するなど、整備が進む。
- 東海環状自動車道の令和8年度の全線開通により、沿線地域の産業振興を支援。

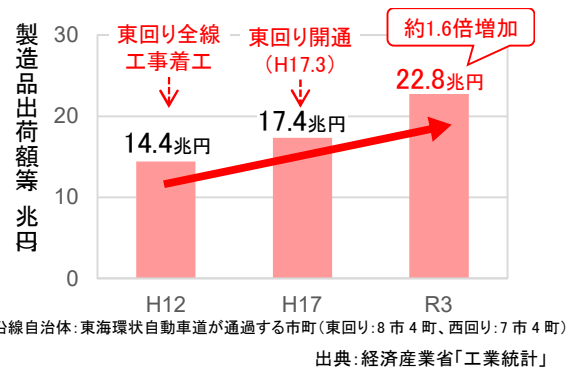
■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地



■沿線市町の製造業従業者数の変化



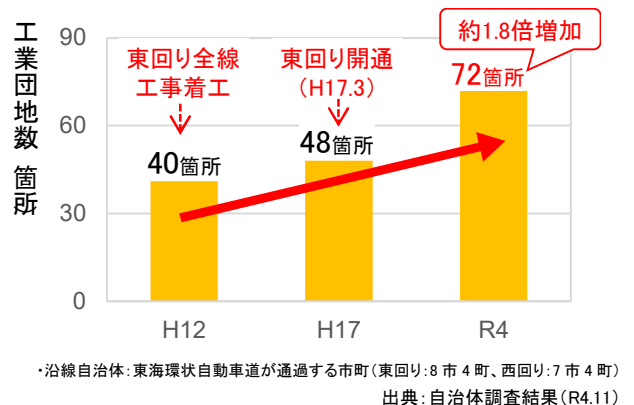
■沿線市町の製造品出荷額等の推移



■岐阜県海津市にて整備が進む駒野工業団地



■沿線市町の工業団地数の推移



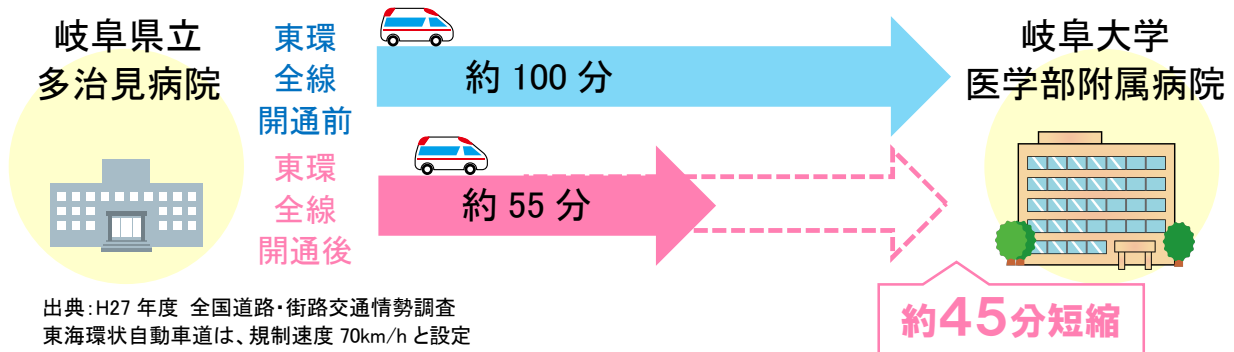
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

(東海環状自動車道)搬送時間短縮による高度救急医療活動を支援

- 東海環状自動車道の岐阜 IC(仮称)直近にある**岐阜大学医学部附属病院は、岐阜県で唯一の高度救命救急センターを保有**する病院。
- 高度な医療技術を必要とする場合、県内病院からの転院搬送の連携も行っている。
- 東海環状自動車道の**令和8年度全線開通によって、搬送時間が短縮し、高度救急医療への支援が期待。**

■転院搬送時の所要時間の変化（事例）



■岐阜大学医学部附属病院の時間圏域拡大エリア



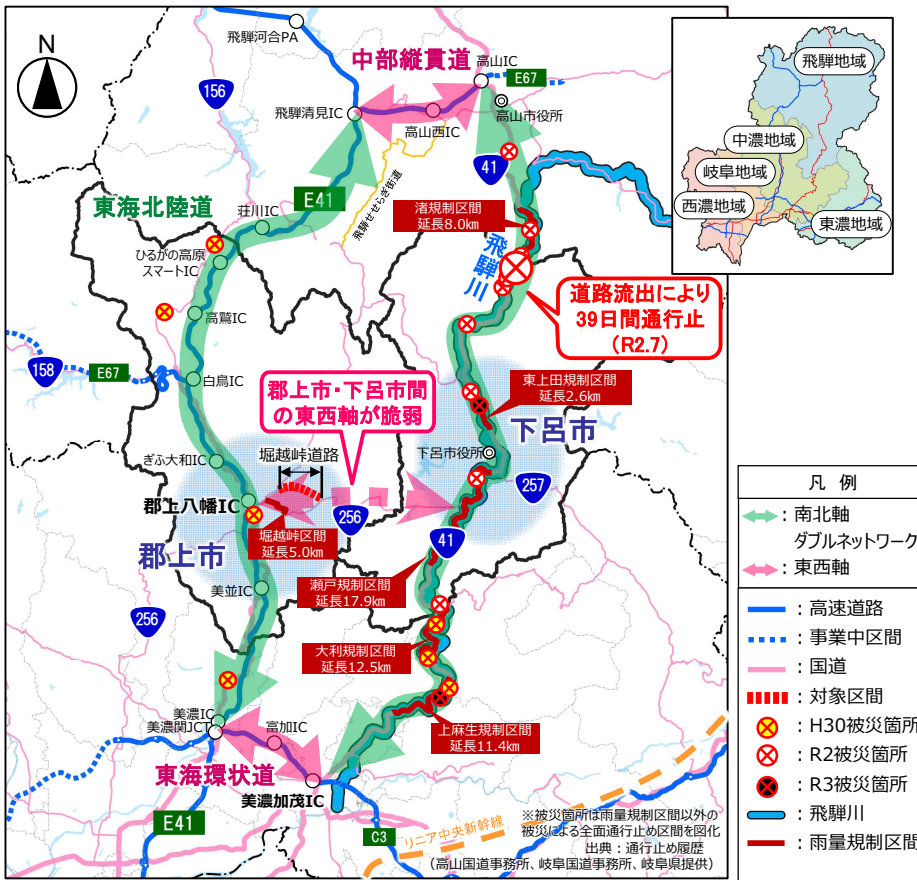
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

(堀越峠道路)ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸を強化

- 飛騨地域と中濃地域を結ぶ南北軸は、東海北陸自動車道と国道41号によるダブルネットワークが確保されているが、東西軸が脆弱。
- 山間部を通る国道41号は、飛騨川の並走や事前通行規制区間を有する等、災害リスクが高く通行止めが頻繁に発生。
- 濃飛横断自動車道の一部となる堀越峠道路の整備により、事前通行規制区間、線形不良等の通行リスクの回避や、山間地域の暮らしを支える信頼性の高い道路を確保し孤立リスクを解消するなど、南北軸ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸を強化。

■飛騨・中濃地域を結ぶ南北軸、東西軸



■国道41号の被災事例 (令和2年7月豪雨)

国道41号の道路流出により

**39日間
全面通行止め**



写真：高山国道事務所資料

■地域の声

下呂市では、高山市に通勤・通学している人が多く、長期にわたる通行止めは大幅な迂回だけでなく、通勤・通学地付近での泊まり込みが必要となるなど、**市民生活の大きな負担**となった。

出典：ヒアリング結果_下呂市役所 (R4)

■国道256号堀越峠の通行リスク



■郡上市和良地区の孤立事例



きそさんせん
国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

令和5年度当初 : 5.8億円
(岐阜県分: 4.9億円、愛知県分: 0.1億円、三重県分: 0.8億円)

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、平成27年度には部分開園を含む13拠点の全てを開園しました。その後も順次整備エリアを拡げ、令和4年11月にフラワーパーク江南Ⅱ期地区を追加供用し、令和5年3月にアクアワールド水郷パークセンター堀田エリアの駐車場を追加供用することにより、令和5年3月31日現在、開園面積は約299.9haとなっています。令和3年度には年間約770万人に来園いただきました。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

令和5年度は、木曾三川公園センターの再整備等を推進します。



2. 事業箇所

岐阜県海津市海津町、愛知県稲沢市祖父江町祖父江、三重県桑名市三之丸 等

3. 令和5年度事業予定内容

- ・木曾三川公園センター 管理施設再整備
- ・ワイルドネイチャープラザ 施設設計
- ・桑名七里の渡し公園 管理運営検討、用地取得 等

国営木曾三川公園の主な整備箇所

木曾三川公園センター（岐阜県海津市）

管理施設再整備

桑名七里の渡し公園（三重県桑名市）

管理運営検討、用地取得

ワイルドネイチャープラザ（愛知県稲沢市）

施設設計

河川環境楽園（木曾川水園）

桜堤サブセンター

かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

138タワーパーク

フラワーパーク江南

アクアワールド水郷パークセンター

長良川サービスセンター

東海広場

船頭平河川公園

カルチャービレッジ

4. 整備効果

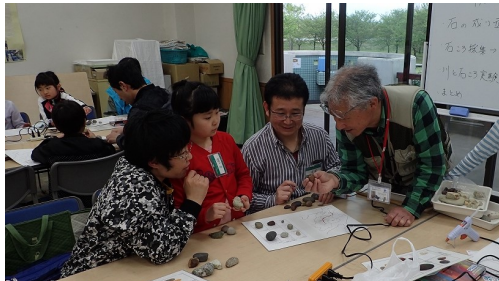
重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり

自然環境や歴史・文化への理解の深化

- 河川ならではの自然環境に配慮した公園整備を行う事で広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献
- 水辺に囲まれた公園の立地条件を生かした環境教育プログラムなどを実施し、訪れる人に対しての木曾三川の自然環境・歴史文化の理解の深化に貢献



復元した堀田における
田植え体験
(アクアワールド水郷パークセンター)



身近にある石について親子で学ぶ
石ころクラブ
(河川環境楽園)



祖父江砂丘の復元に向けた
砂丘保全活動
(ワイルドネイチャープラザ)

地域活性化と観光振興

- 木曾三川公園の新たなエリアの開園へ向けた整備推進や施設の再整備により公園の魅力が向上し、入園者数の増加による公園周辺への波及効果
- 地域と連携したイベントの実施により地域の観光振興や賑わいの創出に、また、公園ボランティアの参画を進める事で、地域コミュニティの活性化にも貢献



チューリップ祭
オープニングセレモニー
(木曾三川公園センター)



公園ボランティアによる園芸活動
(フラワーパーク江南)



海津アクアマルシェ&
ハンドメイド市
(アクアワールド水郷パークセンター)

地域における防災・減災の寄与

- 沿川自治体の地域防災計画における広域避難地・一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献



防災関連イベント
(フラワーパーク江南)



公園を利用した防災訓練
(東海広場)



かまどベンチ使用例

災害用かまどベンチの整備
(138タワーパーク)

狩野川河川改修事業[黄瀬川地区] (狩野川水系)

令和5年度当初:12.4億円

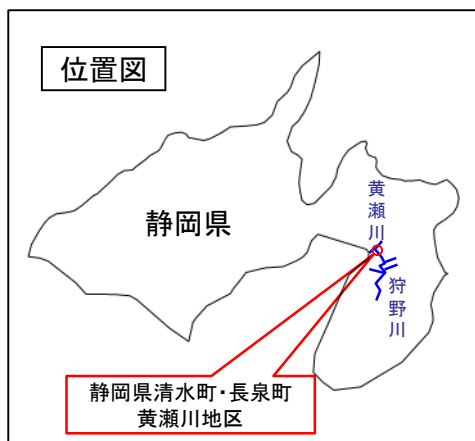
1. 事業の必要性及び概要

沼津市、清水町、長泉町等を通る狩野川水系黄瀬川における黄瀬川地区は、堤防高さが不足し、早急な整備が必要な区間です。

平成27年9月関東・東北豪雨を受け策定された「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取り組みの一環として、早期に治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

静岡県清水町、長泉町

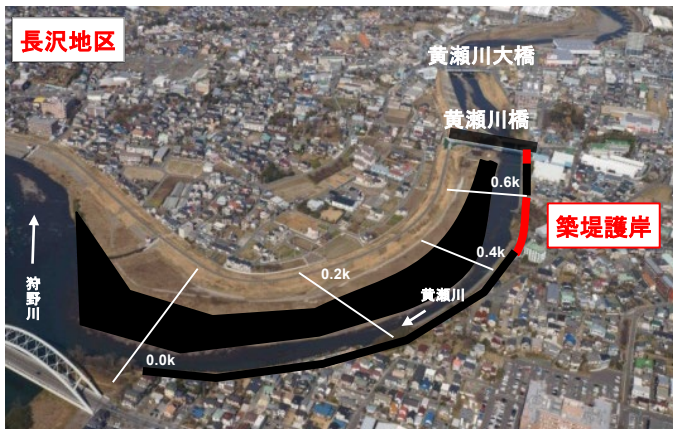


3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、堤防整備を実施します。(黄瀬川洪水氾濫防止事業)



Legend for implementation status: Black line for completed areas, red line for FY2023 implementation areas.

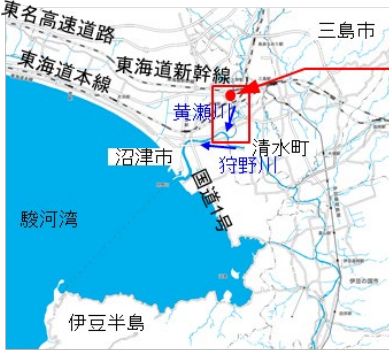


4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

- 令和3年7月豪雨では、本宿地点において既往最大の1,200m³/sに迫る約1,000m³/s（速報値）を記録しました。
- 近年の河道拡幅（黄瀬川橋）【H17～H25】や河道掘削【H30～R2】等を実施したことにより水位を約1m低減させ氾濫を回避し、浸水被害（想定被害額約110億円）の発生を防止できた想定されます。

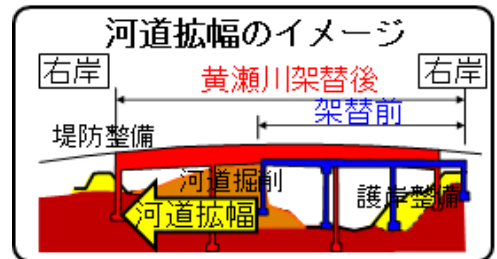
■位置図



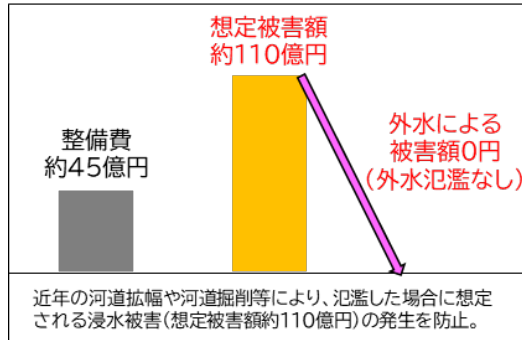
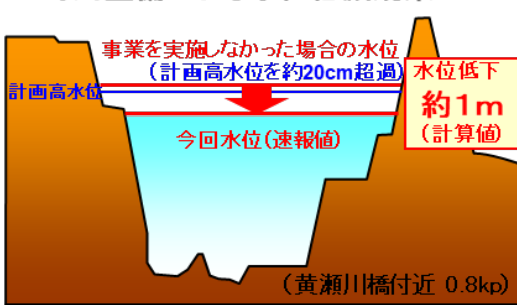
■出水状況



■想定浸水範囲



■河川整備による水位低減効果



きせがわ

- 令和5年度の堤防整備により黄瀬川地区における堤防整備を完了させ洪水を安全に流すことを目指します。

由比地区直轄地すべり対策事業

令和5年度当初:21.1億円

1. 事業の必要性及び概要

由比地区には日本の大動脈(東名高速道路、国道1号、JR東海道本線)が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



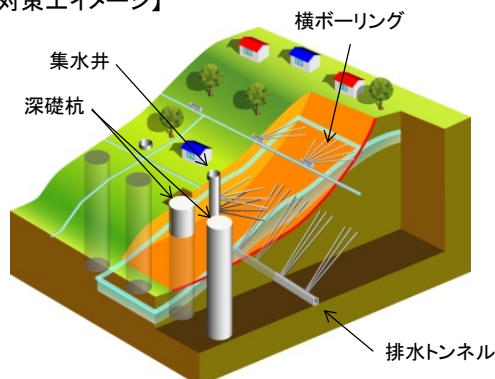
2. 事業箇所

静岡県静岡市清水区由比西倉沢

3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、深礎工、集水ボーリング工を実施します。

【対策イメージ】



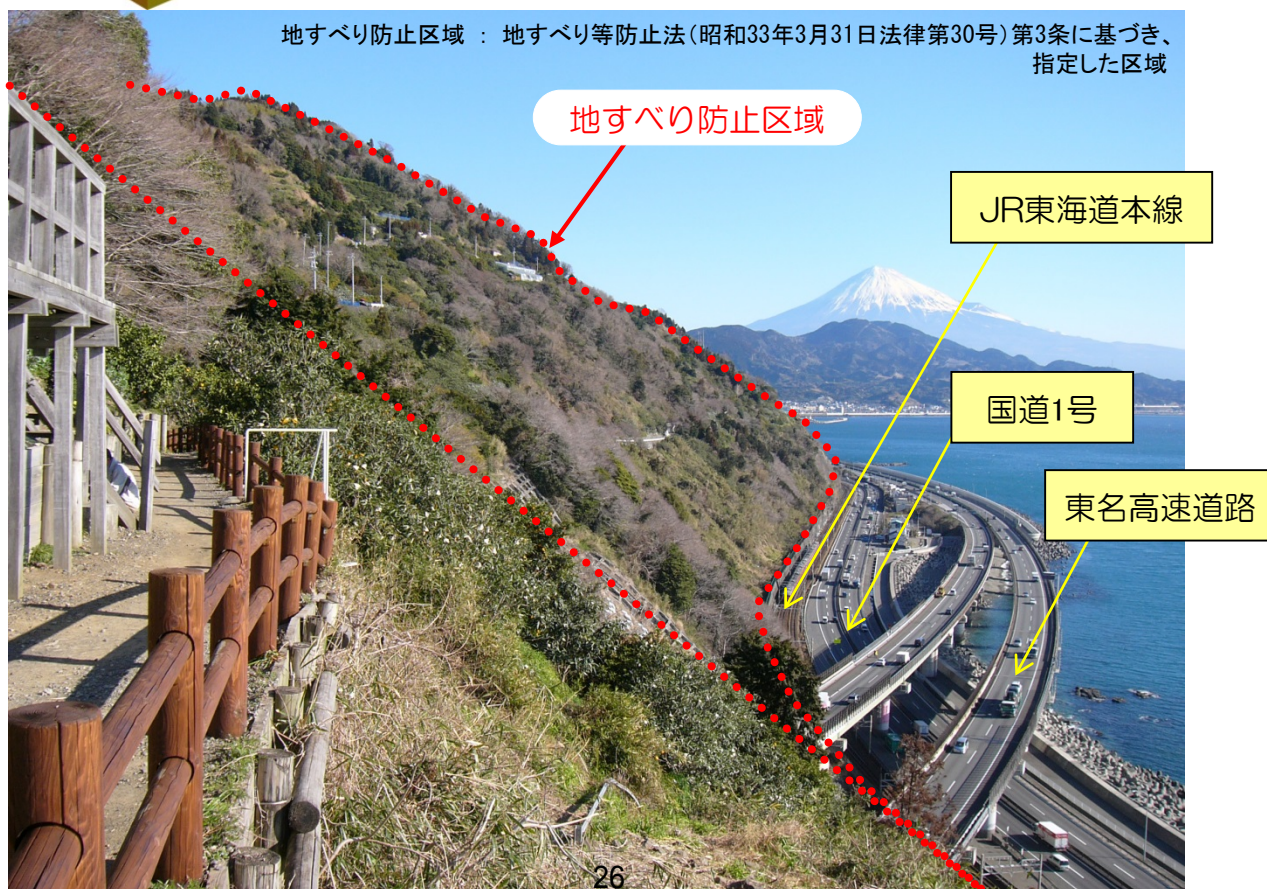
深礎工



集水ボーリング工



地すべり防止区域：地すべり等防止法(昭和33年3月31日法律第30号)第3条に基づき、指定した区域



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■ 由比地区において想定される被害

- ・由比地区地すべりの直接想定被害は、地すべり崩落土砂により重要交通網が埋没することです。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。

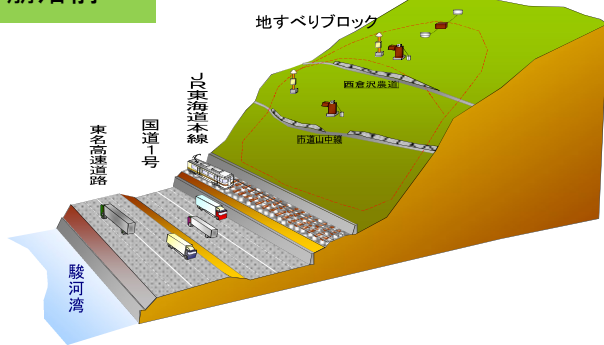


重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))

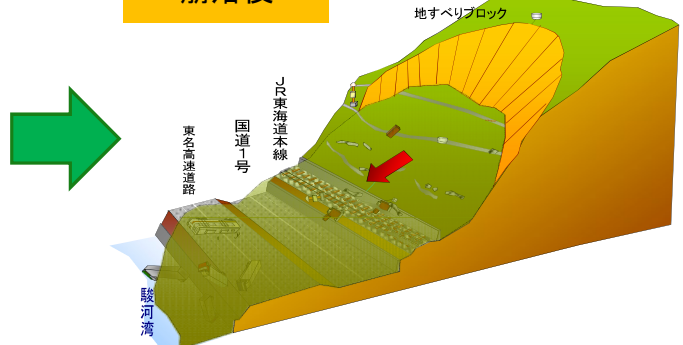
■ 重要交通網の交通量

交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約60,000台/日
東名高速道路 平均交通量	約42,000台/日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本/日

崩落前



崩落後



■ 災害発生時の影響

地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、JR東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



■ 事業効果

日本経済全体への影響が懸念される重要交通網である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の交通が確保されます。

地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

するが
駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業

令和5年度当初:9.7億円

1. 事業の必要性及び概要

駿河海岸は、切迫する南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波の第1波が地震発生後に最短2～4分で到達するため、避難に可能な時間が極めて短い地域です。
このため、最大クラスの津波が堤防を乗り越えた場合でも、浸水被害の軽減と避難までの時間を稼ぐ減災機能を発揮する“粘り強い構造の海岸堤防”の整備を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

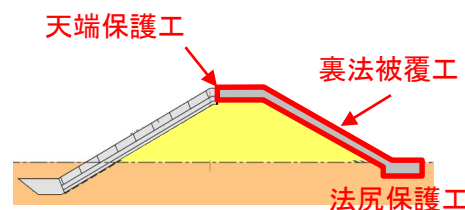
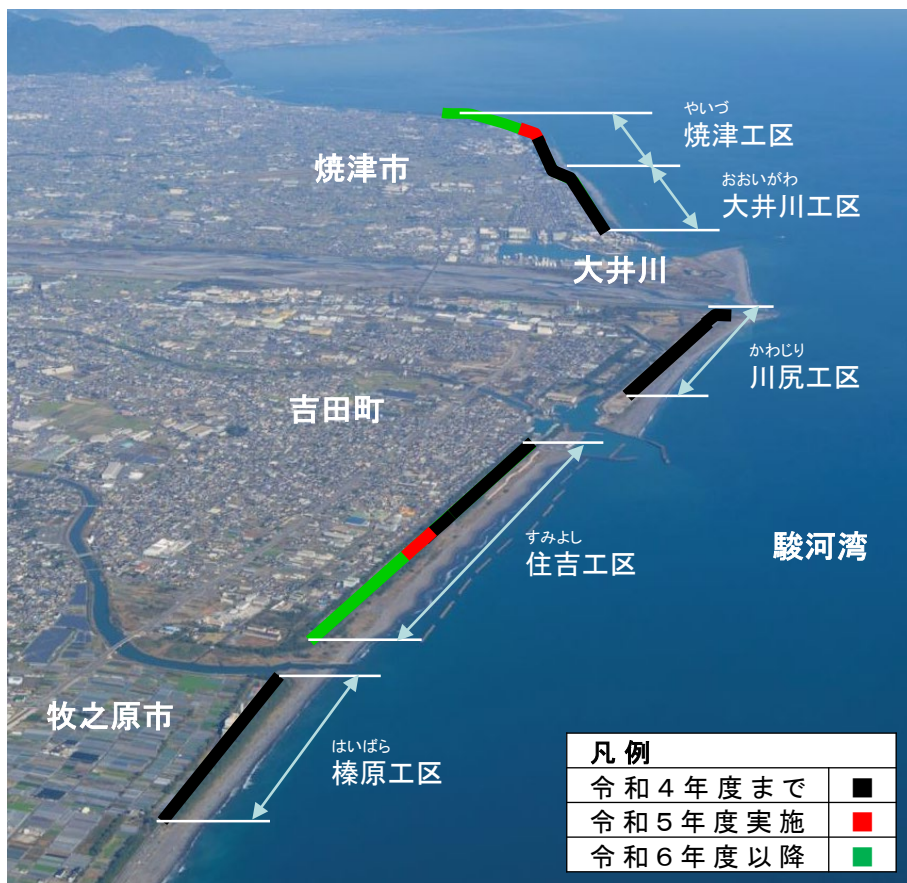
2. 事業箇所

静岡県焼津市、吉田町



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進します。



粘り強い構造の海岸堤防
構造イメージ図

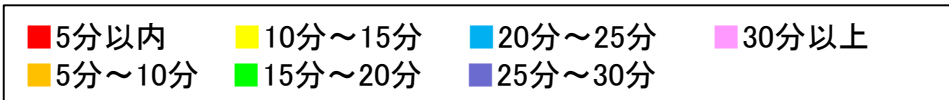
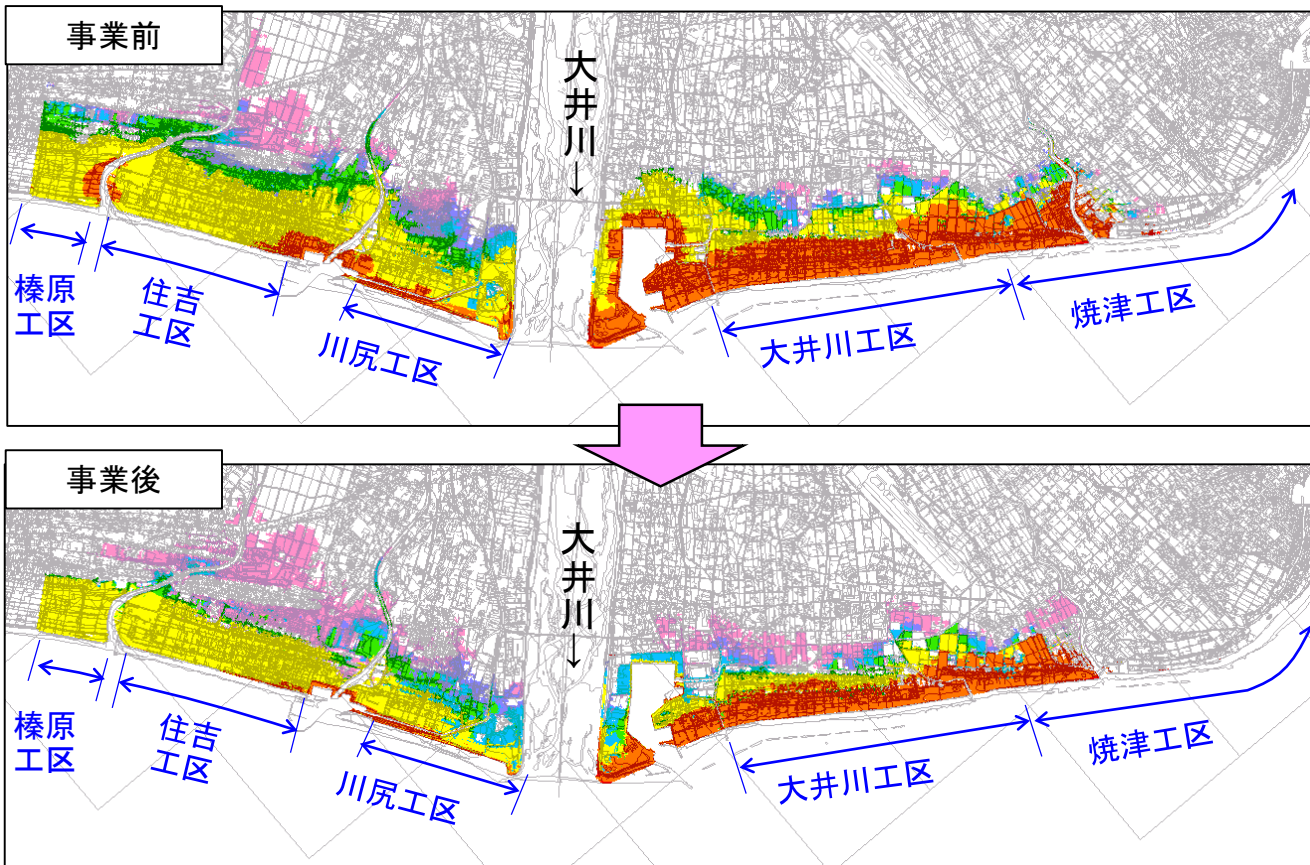
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

駿河海岸における南海トラフ巨大地震の津波による想定被害者数(想定死者数)※は約5,000人と想定されますが、粘り強い構造の海岸堤防を整備することにより、想定被害者数を約5割低減することができます。

※想定死者数は、津波浸水域における滞留者のうち津波が到達する時間(浸水深30cm以上となる)までに浸水区域外、高台や高層階、津波避難施設等への避難が完了できなかったものを津波に巻き込まれたものとして、死亡か負傷かを判定

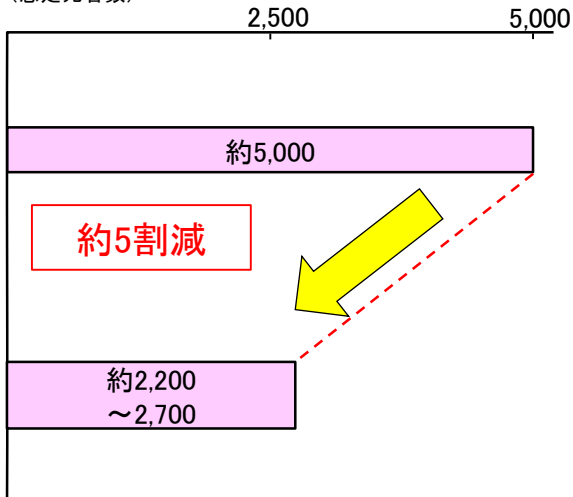
■津波到達時間分布図(浸水深30cm)



※被害想定は、津波シミュレーションを用いて焼津工区~榛原工区間のみの被害軽減効果を試算
 ※粘り強い構造の海岸堤防整備により避難時間をさらに3~5分確保できると仮定

■想定被害者数(人)

(想定死者数)



“粘り強い構造の海岸堤防”により、最大クラスの津波が堤防を越流した場合でも、堤防の効果が粘り強く発揮し、破堤に至るまでの時間を遅らせることで、浸水被害の軽減や避難のためのリードタイムを長くする効果等が期待されます。

国道1号 国道414号 いずじゅうかん 伊豆縦貫自動車道
 国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道
 国道1号 せいしん 静清バイパス

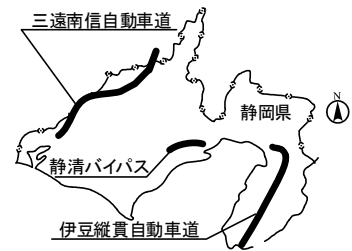
令和5年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 32.4億円
 【三遠南信自動車道】： 151.4億円
 【静岡県分】： 24.3億円
 【静清バイパス】： 79.2億円

1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約60kmの高規格道路です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- 静清バイパスは、高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、静清都市圏の発展の支援を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道： 静岡県沼津市～静岡県下田市
- 三遠南信自動車道： 長野県飯田市～静岡県浜松市
- 静清バイパス： 静岡県静岡市清水区興津東町
～静岡市駿河区丸子二軒屋



3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 伊豆縦貫自動車道【東駿河湾環状道路（延長15.0km）】
 - 【天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）（延長5.7km）】 《令和5年度新規事業化》
 - 調査設計を推進。
 - 【河津下田道路（Ⅱ期）（延長6.8km）】 【河津下田道路（Ⅰ期）（延長5.7km）】
 - 河津逆川IC～下田IC（仮称）間（延長12.5km）の改良工事、橋梁工事等を推進。
- 三遠南信自動車道 【佐久間道路・三遠道路（延長27.9km うち静岡県13.4km）】
 - 【水窪佐久間道路（延長14.4km）】 【青崩峠道路（延長5.9km うち静岡県2.6km）】
 - 水窪IC（仮称）～佐久間川合IC間（延長14.4km）の調査設計等を推進。
 - 小嵐IC（仮称）～水窪北IC（仮称）間（延長5.9km）の改良工事、トンネル工事等を推進。
- 静清バイパス（延長24.2km）
 - 清水立体区間（延長2.4km）の橋梁工事を推進。
《清水立体上り線（東京向き）令和8年春頃開通予定》



伊豆縦貫自動車道
河津下田道路（Ⅱ期） 下田北IC付近



三遠南信自動車道
青崩峠道路 静岡側坑口



R8年春頃開通に向け工事が進む
静清バイパス（清水立体）

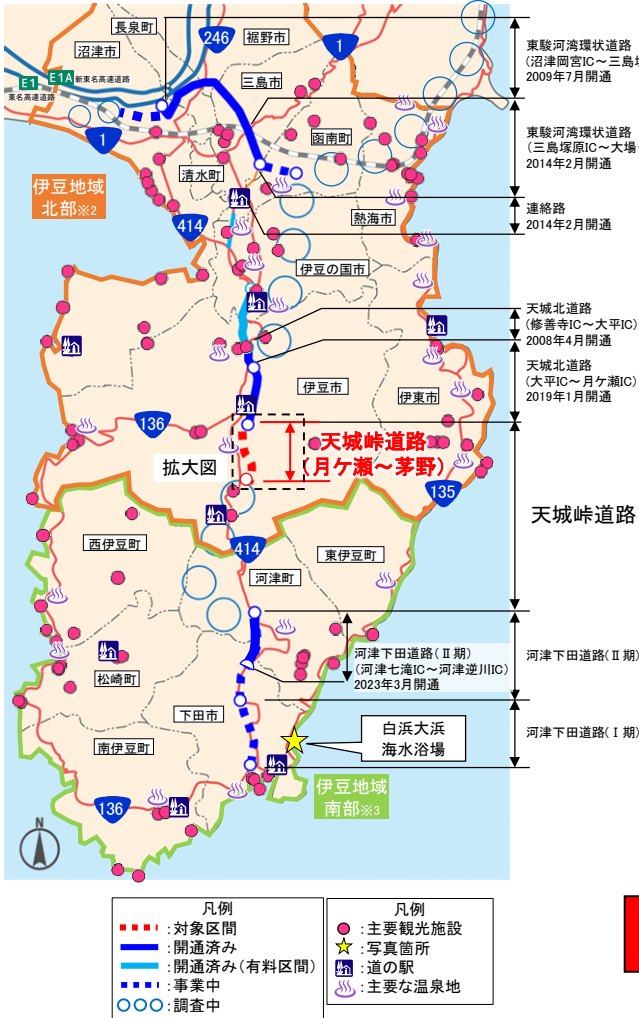
4. 整備効果

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

(伊豆縦貫自動車道) 道路ネットワークの確保による観光振興の支援

- ▶ 伊豆地域北部の2019年度観光交流客数は、東駿河湾環状道路、天城北道路の開通後、**約1.2倍に増加**し、コロナ渦では減少傾向であったが、現在は回復傾向。
- ▶ 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)の整備により、線形不良区間の回避及び時間短縮が図られ、**伊豆地域南部の更なる観光振興が期待**。

■伊豆地域の観光資源と伊豆縦貫自動車道



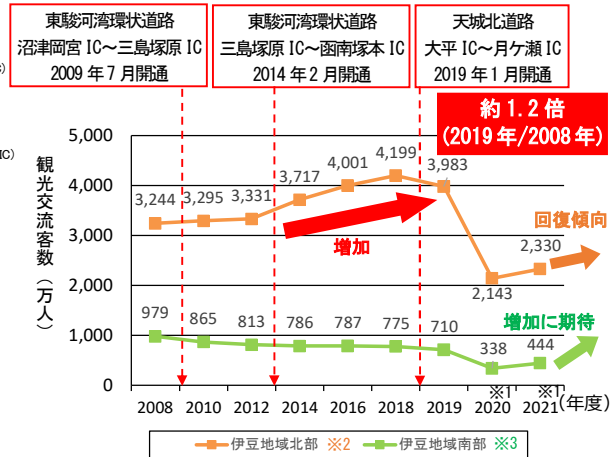
出典：主要な観光地は、令和元年度静岡県観光交流の動向調査地点一覧より作成

■伊豆地域の観光地



【白浜大浜海水浴場】2022年8月撮影

■伊豆地域の観光交流客数



資料：静岡県観光交流の動向

※1 新型コロナウイルスの影響により減少

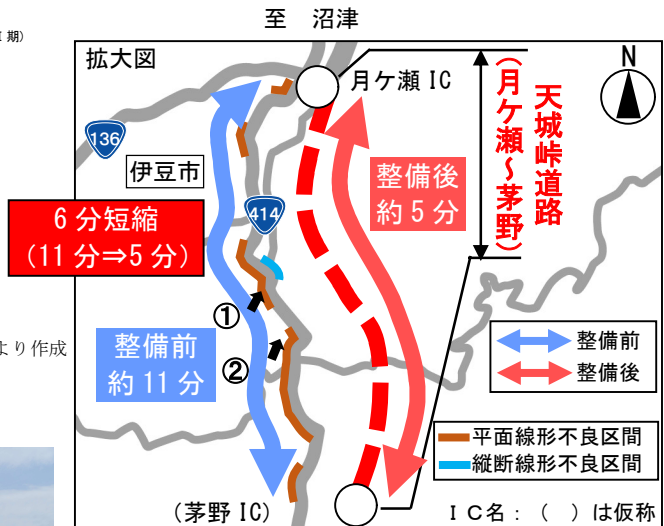
※2 伊豆地域北部

(沼津市、熱海市、三島市、伊東市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町)

※3 伊豆地域南部

(下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町)

■天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)の整備による所要時間の短縮



整備前：ETC2.0プローブ情報(2022年9月)より算出

整備後：天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)を設計速度(80km/h)として算出

【現道の道路状況】

写真①



写真②



しみず しんおきつ
清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和5年度当初：15.1億円

多くの製紙工場が背後に立地する清水港は、原材料であるパルプの輸入拠点となっており、パルプの輸入量が増加しています。また、背後圏のコンテナ貨物の取扱拠点となっており、特に東南アジア貨物が増加し、船舶が大型化しています。

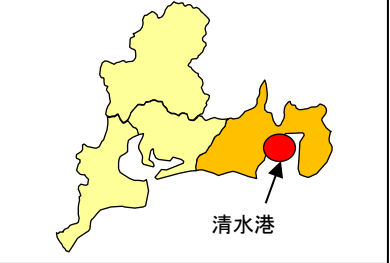
一方、大型船が利用できる岸壁が限られており、非効率な輸送を強いられていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、新興津地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

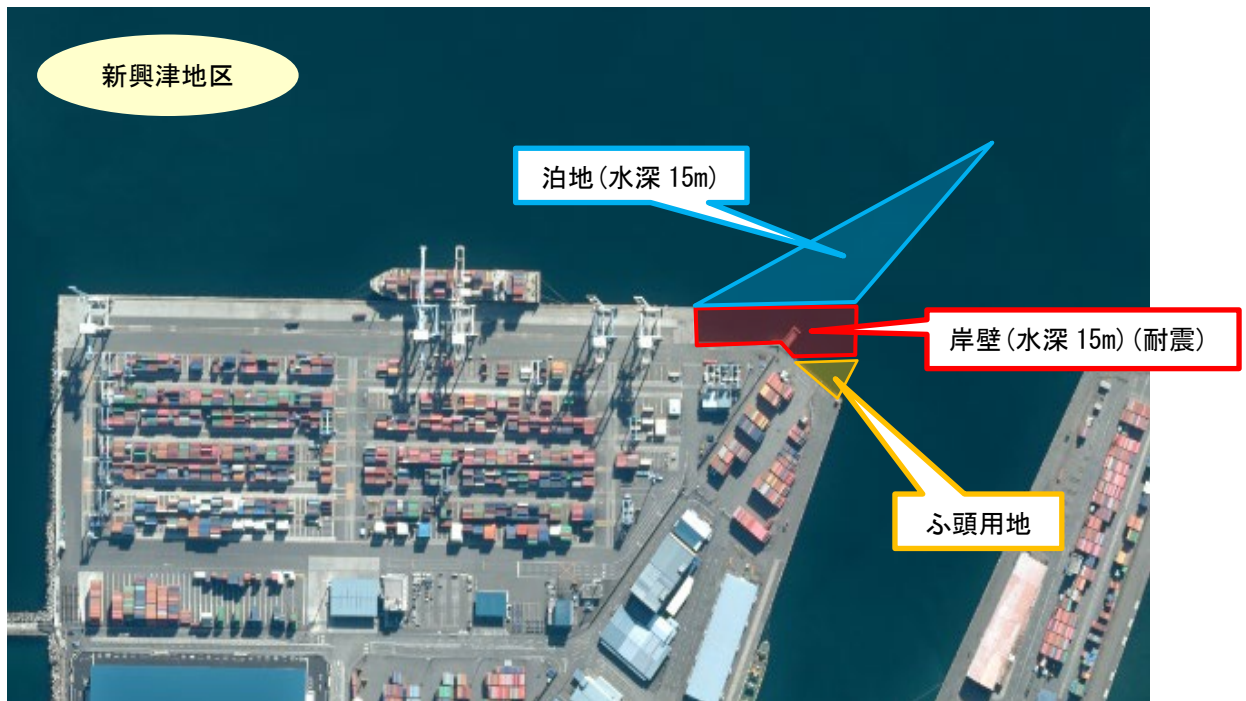
静岡県 しずおか 静岡市

【位置図】



3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

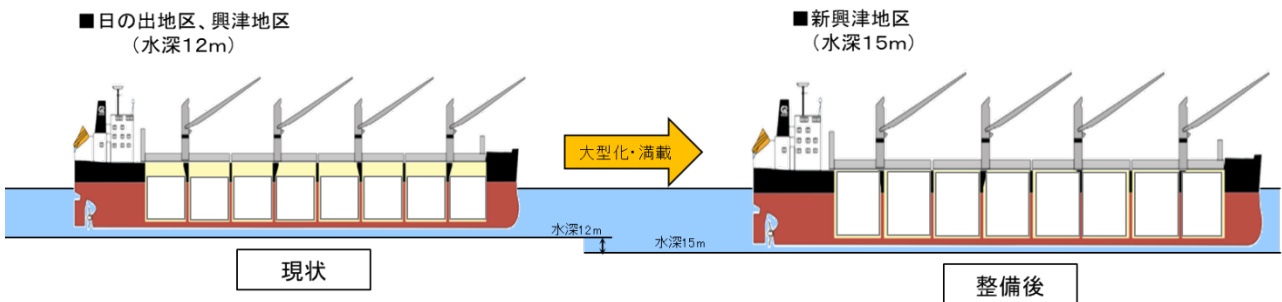
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり

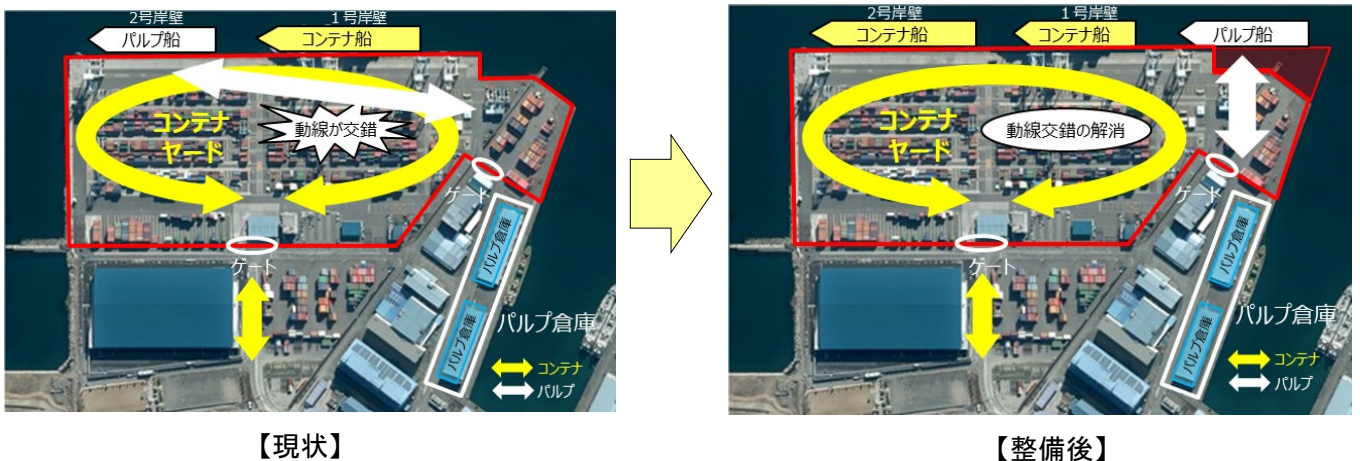
<海上輸送効率化への対応>

大型パルプ船による原産国から清水港への一括大量輸送、清水港を拠点とした全国へのトランシップ（積替）輸送による物流効率化が可能となり、静岡県の基幹産業である製紙産業の国際競争力の強化、地域経済の活性化を図ります。また、コンテナ貨物の増加、コンテナ船の大型化にも対応可能となります。



<ターミナルの安全性の向上>

整備した岸壁にパルプ船が着岸することで、コンテナ荷役とパルプ荷役の動線の交錯が緩和され、安全かつ効率的な荷役が可能となります。



やはぎがわ

どあい

やはぎがわ

矢作川河川改修事業[渡合地区] (矢作川水系)

令和5年度当初:12.6億円

1. 事業の必要性及び概要

とよた

りゅうぐうばし

うのくび

豊田市街地を流れる矢作川は、竜宮橋下流に鵜の首と呼ばれる狭窄部があり、平成12年の東海(惠南)豪雨では、狭窄部上流部において氾濫が発生しました。我が国有数のものづくり拠点を氾濫被害から守るため、河道掘削等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

とよた

愛知県豊田市

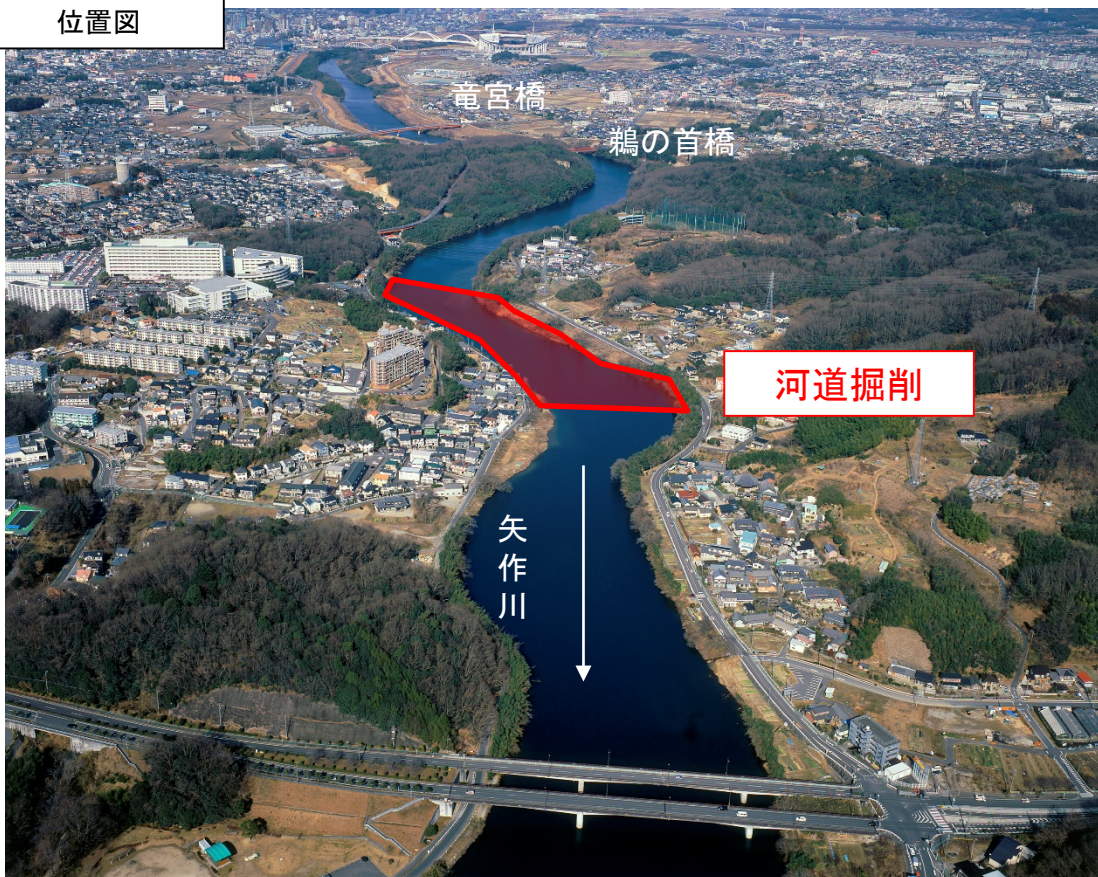


3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

やはぎがわ うのくび

引き続き、河道掘削を実施します。(矢作川鵜の首地区水位低下対策事業)

位置図



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

- 平成12年の東海豪雨(恵南豪雨)では、鵜の首狭窄部の影響もあり、上流の豊田市街地で大規模な浸水被害が発生しました。
(矢作川水系:被災家屋 約2,800棟、水害区域面積 約1,800ha)



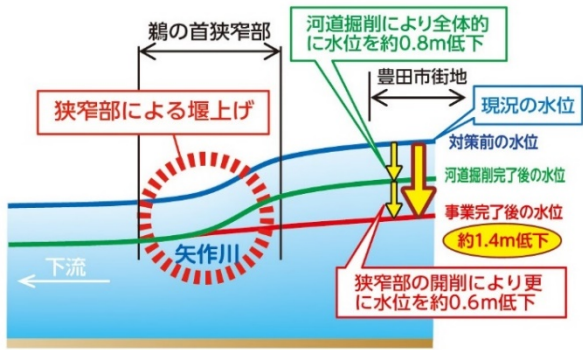
平成12年9月「東海豪雨(恵南豪雨)」の被害状況(豊田市森地区) ……………

- 狭窄部の河床掘削、狭窄部開削を実施することで、上流の豊田市街地(久澄橋下流:38.6k)で東海豪雨(恵南豪雨)において水位が約1.4m低下します。
- これにより、豊田市街地(鵜の首地区上流部区間)において東海豪雨(恵南豪雨)の被害が解消されます。

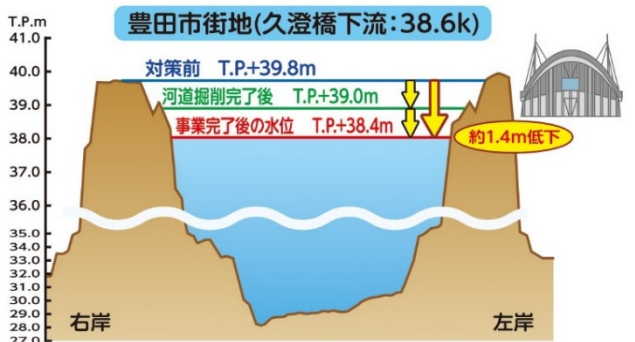
鵜の首狭窄部の整備イメージ



狭窄部の開削により
川幅を拡幅(約2倍)



対策効果のイメージ(河川水位の縦断面図)



対策による水位低下効果(横断面図)

しょうないがわ
庄内川河川改修事業
しょうないがわ
庄内川特定構造物改築事業[枇杷島地区] (庄内川水系)

令和5年度当初:16.6億円
(岐阜県分:2.1億円、愛知県分14.5億円)

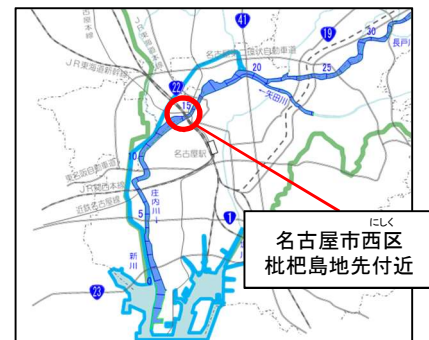
1. 事業の必要性及び概要

名古屋市枇杷島地区は、狭窄部であるとともに県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障をきたしていることから、氾濫した場合には、広範囲の浸水被害が予想されます。

このため、枇杷島地区3橋梁の架替や築堤等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

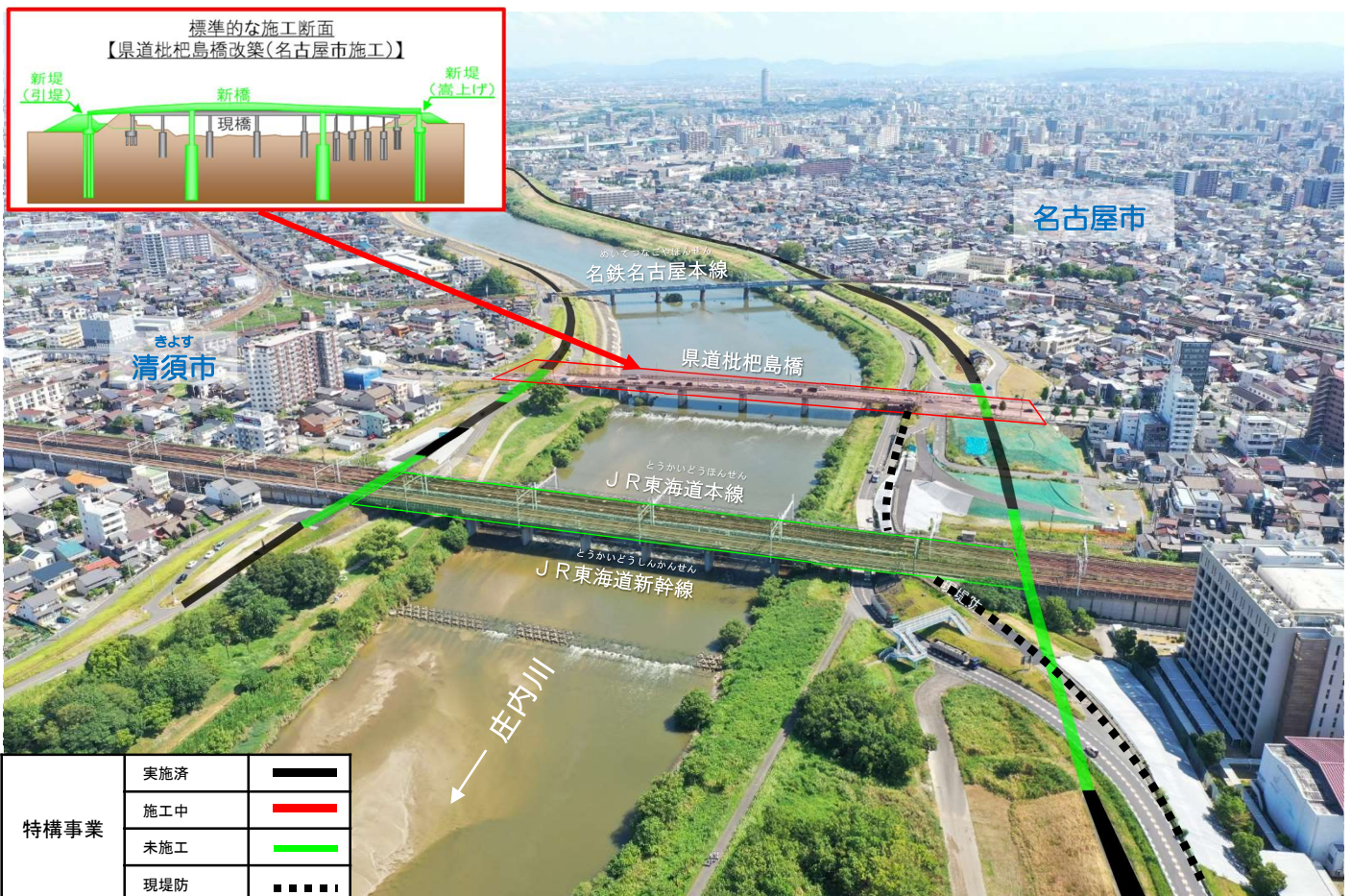
2. 事業箇所

愛知県名古屋市、清須市



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、県道枇杷島橋の架替を実施します。(庄内川特定構造物改築事業)

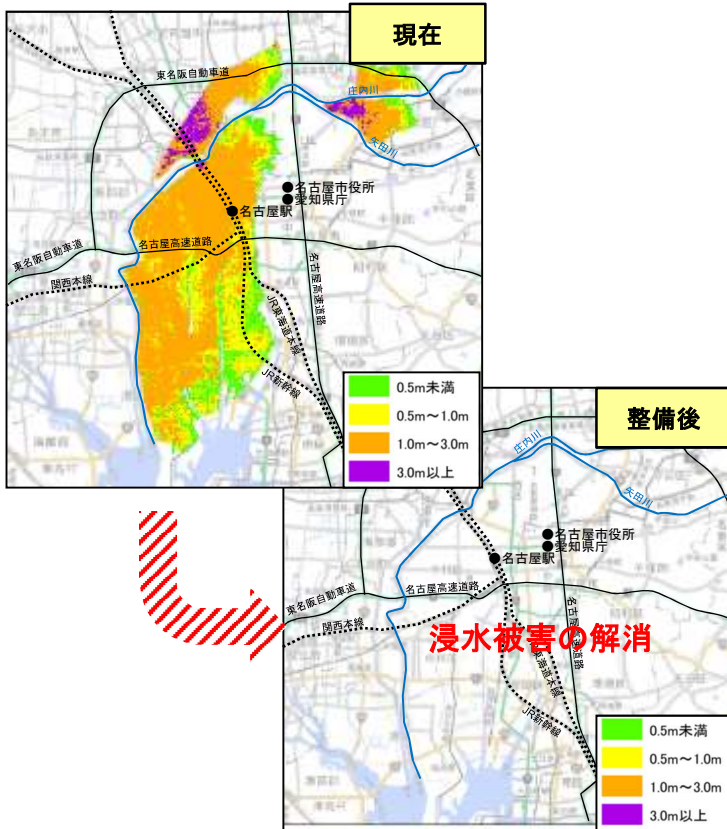


4. 整備効果

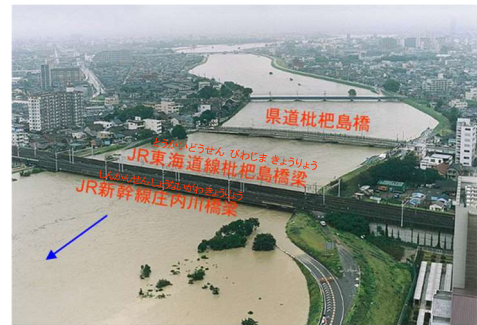
重点: ①国民の安全・安心の確保

平成12年9月11日～12日に東海地方に甚大な被害を発生させた東海豪雨では、派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。県道枇杷島橋では、洪水が橋桁に衝突するなど、危険な状況でした。

本事業を含む整備計画を完了させることで、中下流域(愛知県区間)は、東海豪雨を安全に流下させることが可能となります。



平成12年9月東海豪雨の状況



橋梁の橋げた付近まで水位が上昇(枇杷島地区)



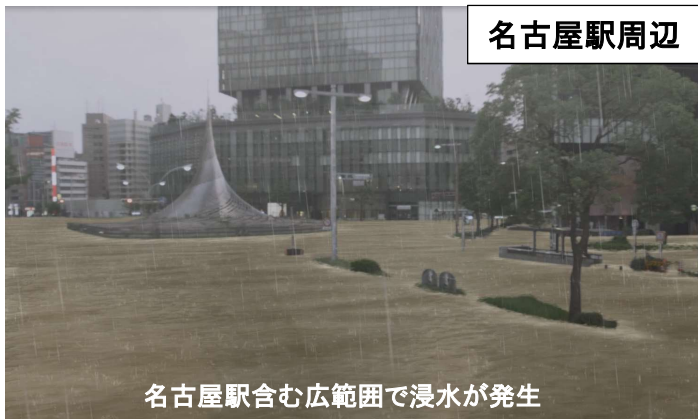
名古屋市区あし原町地先で新川堤防が決壊



新川の堤防決壊による清須市の浸水状況

庄内川が決壊した場合には？

- 河川整備計画の目標規模の大雨が降ったことにより想定される氾濫被害は、**浸水面積約9,000ha、浸水人口約66万人、浸水家屋数約30万世帯**に及びます。
- 更に、枇杷島狭窄部に架かるJR東海道新幹線及びJR東海道本線は、東京・名古屋・大阪の3大都市圏を結ぶ日本の大動脈であり、洪水により流失等の被害が発生すれば、日本経済に与える打撃は深刻なものとなります。



庄内川が決壊した場合の名古屋駅周辺の浸水シミュレーション

したら
設楽ダム建設事業

令和5年度当初:153.3億円

1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、堤防決壊による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらす、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町(豊川水系豊川)



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、ダム本体及び関連工事・付替道路工事等を推進します。



設楽ダム完成予想図



工事用道路(廃棄岩骨材運搬路等)



本体工事(基礎掘削)



付替県道設楽根羽線

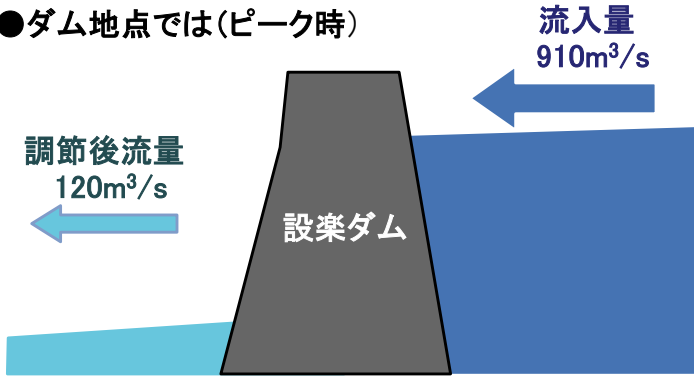
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となります。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減します。

●ダム地点では(ピーク時)

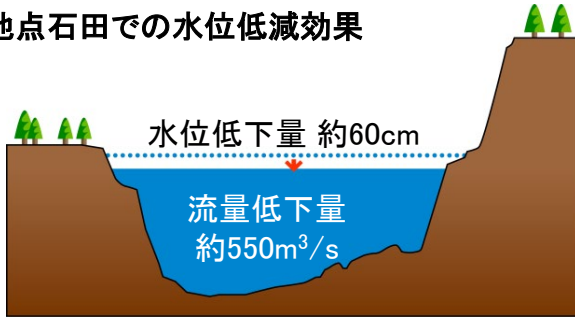


ダム地点で、最大約790m³/sの洪水調節



昭和44年8月(旧一宮町江島)

●基準地点石田での水位低減効果



下流の基準地点の石田では、約550m³/sの流量を低減（約60cm水位を下げる）

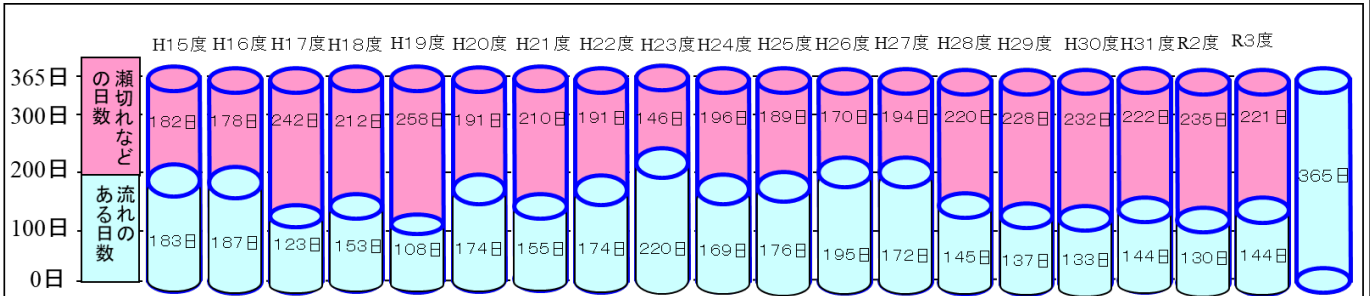
設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図ります。



(平成16年4月26日 0.0m³/s)大野頭首工下流



(平成16年4月29日 1.3m³/s)大野頭首工下流



国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道
 国道23号 がまごおり 蒲郡バイパス
 国道41号 めいのう 名濃バイパス

令和5年度当初【三遠南信自動車道】：151.4億円
 【愛知県分】：54.2億円
 【蒲郡バイパス】：85.0億円
 【名濃バイパス】：8.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道は、ちゆうおうどう 中央道、しんとうめい 新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- がまごおり 蒲郡バイパスは、高規格道路「めいほう 名豊道路」の一部を構成し、国道1号の交通混雑の緩和、がまごおり 蒲郡市街部の交通安全確保等を目的に計画された道路です。
- めいのう 名濃バイパスは、めいしん 名神高速やなごや 名古屋高速へのアクセス道路であり、交通渋滞の緩和、周辺住民や沿線に立地する大規模事業所の高速道路への利便性向上を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道：長野県飯田市～静岡県浜松市
- がまごおり 蒲郡バイパス：愛知県豊川市為当町～額田郡幸田町
- めいのう 名濃バイパス：愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸



3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道 【さくま 佐久間道路・さんえん 三遠道路（延長27.9kmのうち愛知県14.5km）】

- とうえい 東栄IC～ほうらいききょう 鳳来峡IC間（延長7.1km）の橋梁工事、橋梁上部工事等を推進。

《 令和7年度開通予定 》

■ がまごおり 蒲郡バイパス（延長15.0km）

- とよかわためとう 豊川為当IC～がまごおり 蒲郡IC間（延長9.1km）の改良工事、橋梁工事等を推進。

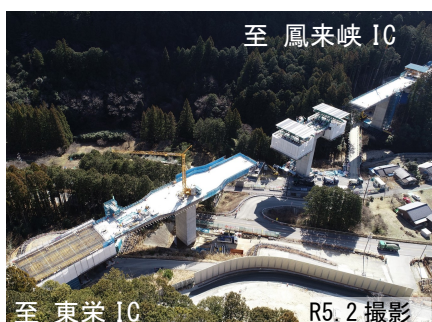
《 令和6年度開通予定※ 》

※：大規模切土工事が順調に進んだ場合

■ めいのう 名濃バイパス（延長7.0km）

- にわぐんふそうちやうたかお 丹羽郡扶桑町高雄～いぬやま 犬山市五郎丸間（延長2.1km）の改良工事、舗装工事等を推進。

《 令和5年度開通予定 》



至 鳳来峡 IC
至 東栄 IC R5.2 撮影
令和7年度開通に向け工事が進む
佐久間道路・三遠道路 鳳来地区



至 名古屋市
蒲郡 IC
至 豊橋市 R5.2 撮影
令和6年度開通に向け工事が進む
蒲郡バイパス 蒲郡IC付近



至 名古屋市
高雄道塚交差点
至 犬山市 R5.2 撮影
令和5年度開通に向け工事が進む
名濃バイパス 高雄道塚交差点付近

4. 整備効果

重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

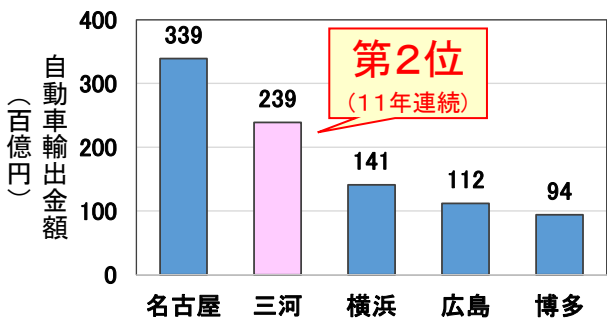
(蒲郡バイパス)道路と港湾の連携による地域産業の活性化

- 名豊道路沿線では、新規企業による工業団地への進出や新たな工業団地開発等が進展
- 名豊道路に直結する三河港は、完成自動車の輸出が11年連続で全国第2位である。
- 豊田市の自動車組立工場からは、400便/日の完成車が名豊道路を利用して、輸送。
- **名豊道路が令和6年度に全線開通**することで、自動車組立工場から三河港までの所要時間の短縮により**輸送効率が向上し、地域産業の活性化に寄与**。

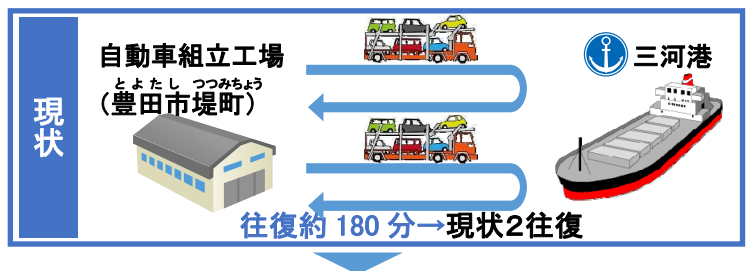
■名豊道路沿線の工業団地整備状況



■港湾別自動車輸出金額順位(令和4年)



■開通による効果：三河港への輸送効率の向上



速度条件：(現状)ETC2.0プローブ情報(令和4年10月平日)
 (開通後)既開通区間：ETC2.0プローブ情報(令和4年10月平日)
 暫定2車線開通区間・未開通区間：現行の規制速度(60km/h)

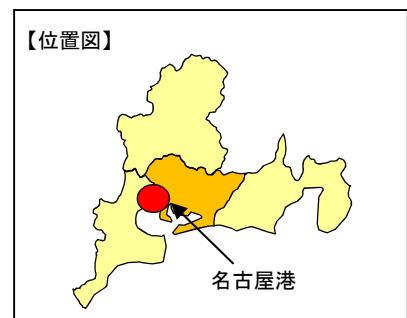
なごや
名古屋港ふ頭再編整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和5年度当初：131.2億円

近年、自動車部品や産業機械などのコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展に加え、飛島東側ターミナルの水深12m岸壁は供用後40年以上が経過し老朽化が進行しています。また、自動車運搬船の大型化の進展に加え、完成自動車取扱施設の分散による非効率な荷役が生じていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、飛島ふ頭地区においてコンテナ貨物の取扱拠点の整備を、金城ふ頭地区において完成自動車の輸出拠点の整備を行います。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市、飛島村

3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、飛島ふ頭地区において、岸壁の増深改良及び耐震強化岸壁の整備等を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

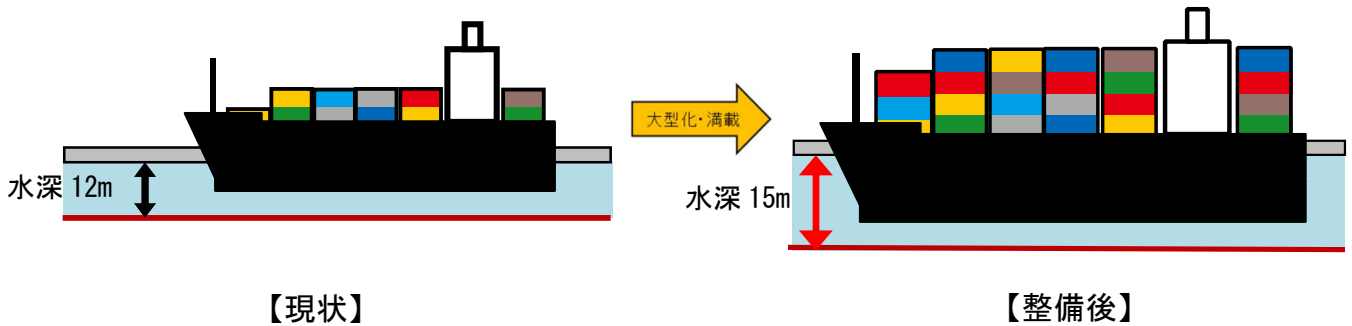
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり

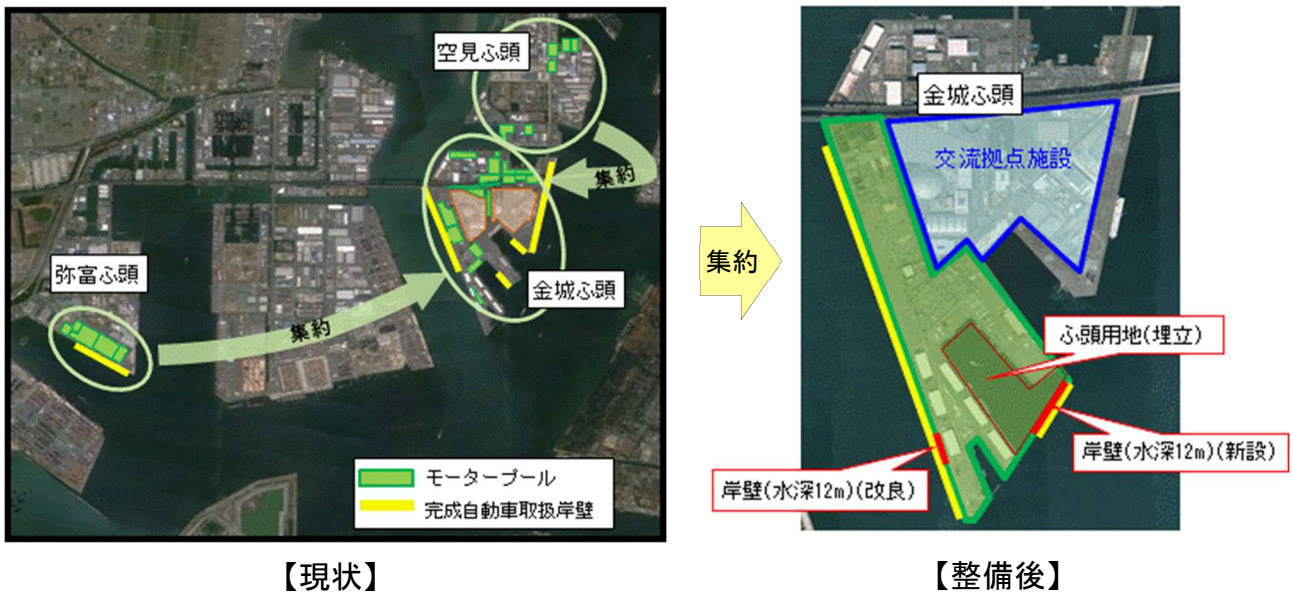
<コンテナ船の大型化への対応>

コンテナ船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送が発生していることから水深15mへ増深することにより、一度に輸送できる貨物量が増加することで輸送コストの低減を図り、物流効率化を推進します。



<モータープールの集約>

自動車運搬船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送や荷さばき地等の不足・分散による横持ちが発生していることから、ふ頭の再編・集約化により、物流効率化を推進します。



なごや

名古屋第4地方合同庁舎整備等事業（PFI手法による庁舎整備）

令和5年度当初：0億円

1. 事業の必要性及び概要

所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市

3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和7年度の完成を目指し、令和5年度は新庁舎整備に係る実施設計及び埋蔵文化財の発掘調査を実施する予定です。（令和4年1月事業契約締結）



※画像は事業者の提案イメージであり、実際とは異なる場合があります。

- 敷地
名古屋市中区三の丸2丁目6-2 敷地面積 6,582㎡
- 規模
延べ面積 25,703㎡
- 事業方式
PFI手法（BTO(Build-Transfer-Operate)方式）
- 完成予定
令和7年12月

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<防災拠点となる官庁施設の防災機能強化>

名古屋市三の丸地区に所在する中部経済産業総合庁舎及び名古屋農林総合庁舎は、いずれも老朽化による不具合が生じており、また、災害応急対策活動の拠点施設として十分な耐震性能を有していません。

本事業では、旧名古屋郵便貯金センター跡地に名古屋第4地方合同庁舎を整備することで、東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局（港湾空港関係）等、災害対策の指揮及び情報伝達等、災害応急対策活動を行う官署を集約し、上記の問題を解消するとともに、防災拠点機能をより強化し、大規模災害時の地域の防災拠点として災害に強い地域づくりに貢献します。

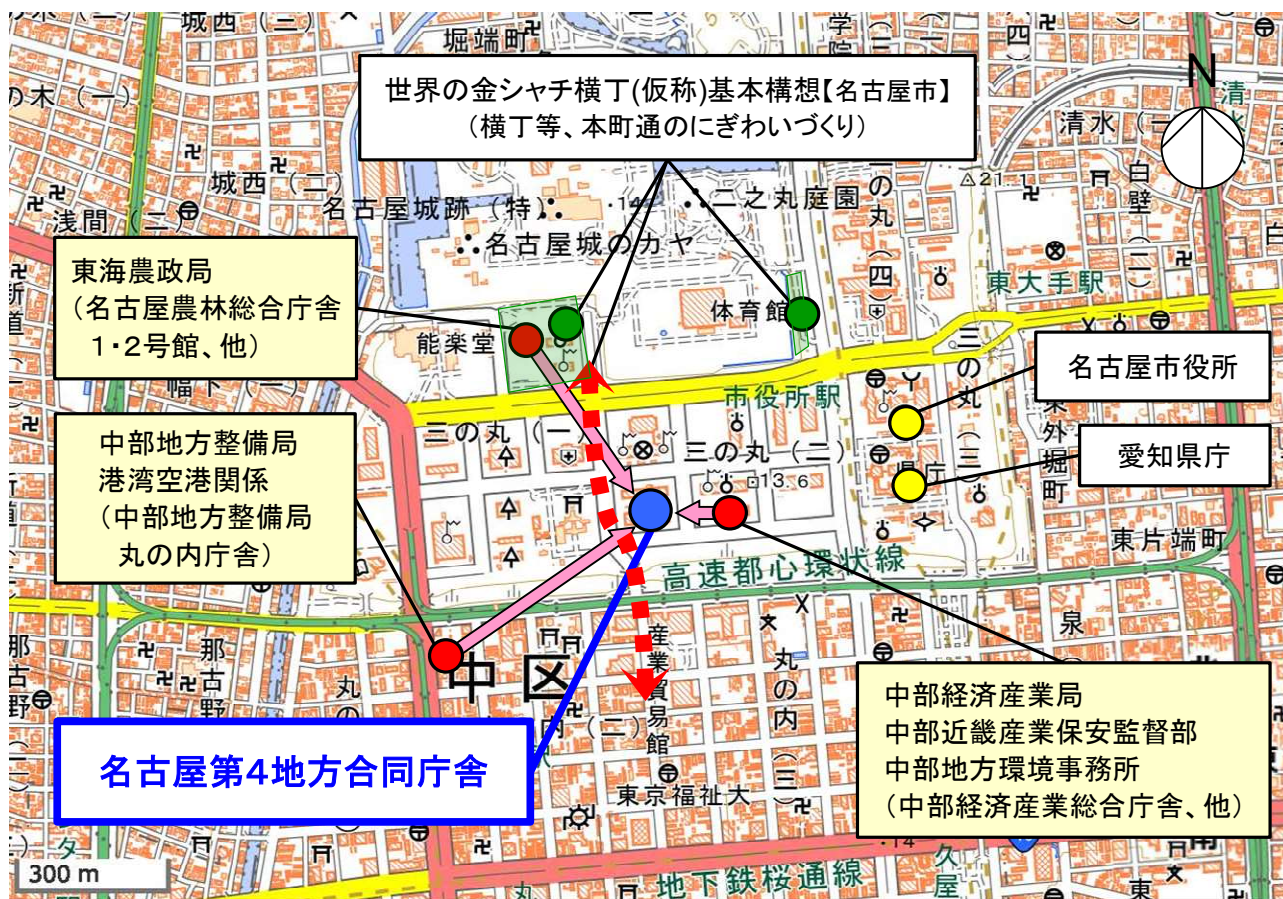
なお、新庁舎の整備によって、名古屋市が推進する「世界の金シャチ横丁（仮称）基本構想」エリア内にある東海農政局の早期移転を可能にし、まちづくりに寄与します。



現 名古屋農林総合庁舎



現 中部経済産業総合庁舎



みやがわ たじり かわさき みやがわ
宮川河川改修事業[田尻・河崎地区] (宮川水系)

令和5年度当初:10.0億円

1. 事業の必要性及び概要

伊勢市街地を流れる宮川水系勢田川は、平成29年10月台風21号により広範囲の浸水被害が発生したことから、勢田川及び桧尻川における浸水被害軽減を図るため、平成30年6月に勢田川流域等浸水対策実行計画を策定しました。

この実行計画に基づき、勢田川における河道掘削や桧尻川排水機場改築等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

位置図



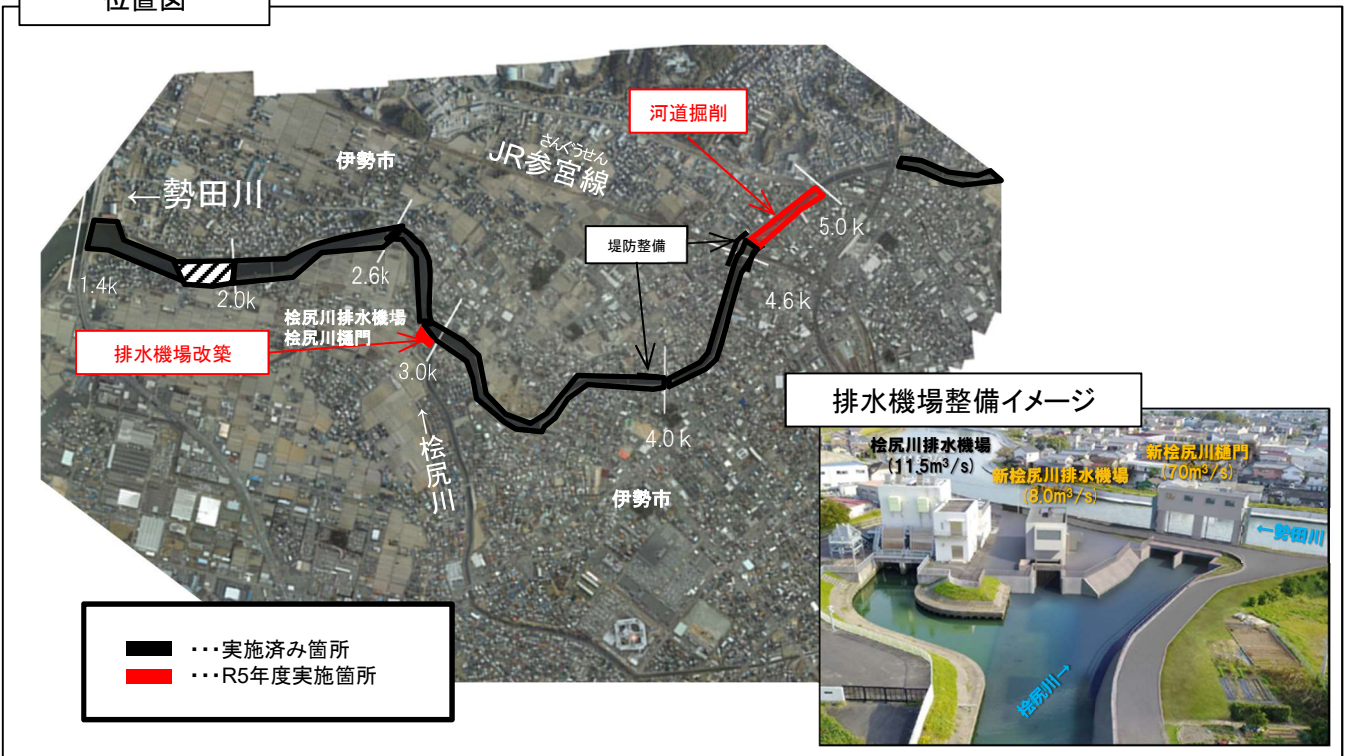
2. 事業箇所

いせ
三重県伊勢市

3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、河道掘削及び排水機場改築を実施します。
(勢田川流域浸水対策緊急事業)

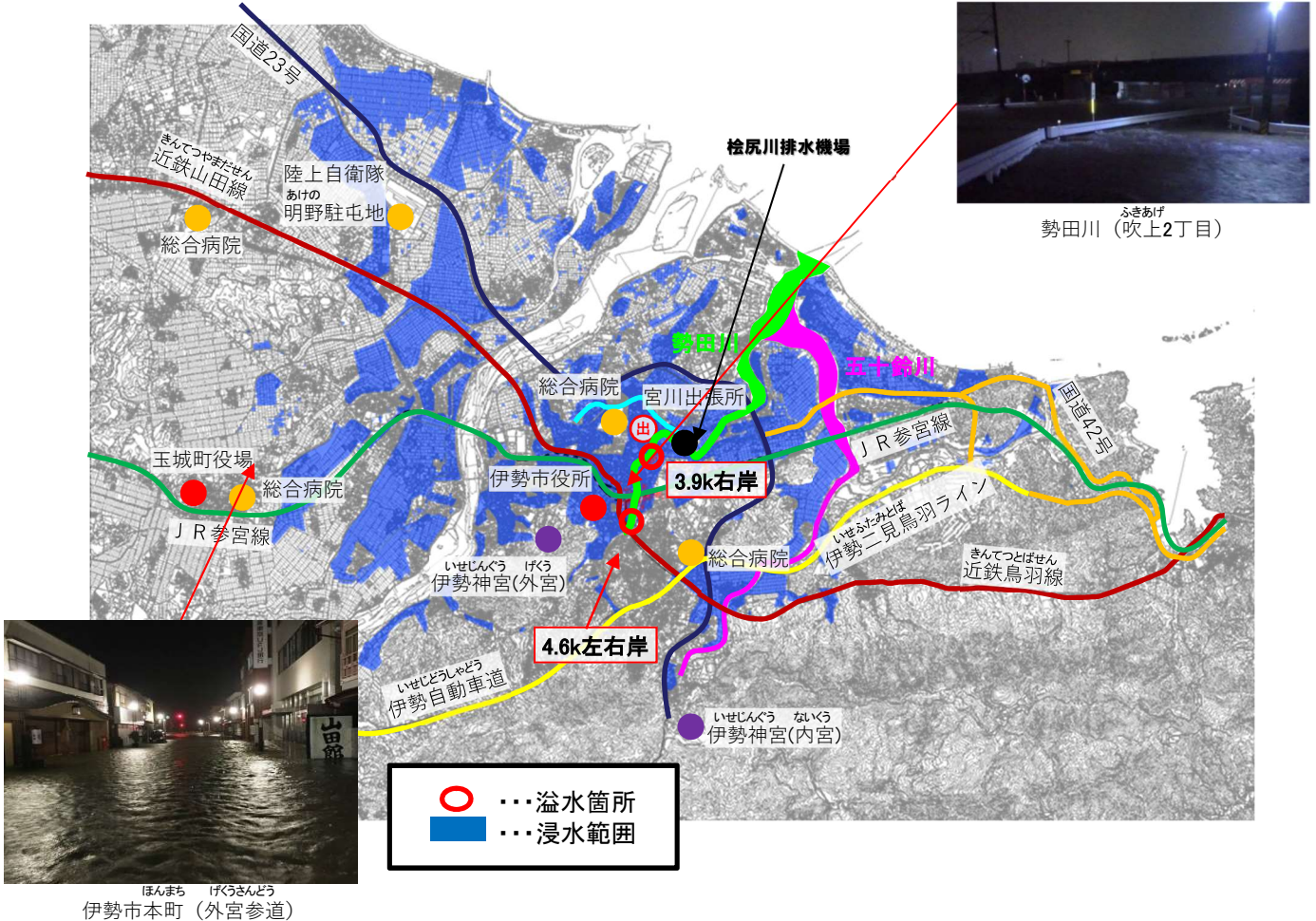
位置図



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- **平成29年10月(台風21号)洪水**では、勢田川河口部の満潮と台風による高潮、大雨がほぼ同時に生起し、**伊勢市の中心市街地を含む広範囲で浸水被害が発生**しました。(浸水面積 約3,034ha)



出展：写真及び浸水家屋数：平成29年台風第21号災害対応記録（伊勢市）より

- 緊急的な堤防のかさ上げや河道掘削、排水機場ポンプ増強等の対策を実施することにより、平成29年10月(台風21号)洪水に対して、**床上浸水を解消**します。



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道

ほくせい
国道1号 北勢バイパス

ちゅうせい
国道23号 中勢道路

令和5年度当初【東海環状自動車道】：357.0億円

〔三重県分：117.5億円〕

【北勢バイパス】：24.2億円

【中勢道路】：33.0億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 北勢バイパス、中勢道路は、国道1号・23号等の渋滞緩和、交通安全の確保及び地域開発の支援を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 北勢バイパス：三重県三重郡川越町～四日市市
- 中勢道路：三重県鈴鹿市～松阪市小津町



3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道【北勢～四日市(延長14.4km)】【養老～北勢(延長18.0kmうち三重県9.0km)】

- 北勢IC(仮称)～大安IC間(延長6.6km)の橋梁工事等を推進。
《令和6年度開通予定※1》
- 養老IC～北勢IC(仮称)間(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。(三重県)
《令和8年度開通予定※2》

※1：財投活用による整備加速箇所 ※2：用地取得等が順調な場合

■ 北勢バイパス

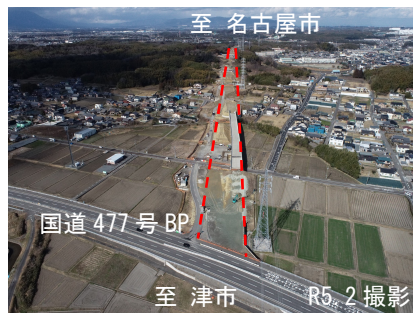
- (市)日永八郷線～四日市市采女町間(延長12.5km)の改良工事、トンネル工事、舗装工事等を推進。
《令和6年度一部開通予定※3》
- ※3：トンネル工事が順調に進んだ場合

■ 中勢道路

- 鈴鹿市北玉垣町～野町間(延長2.8km)の改良工事、舗装工事等を推進。
《令和5年度開通予定》
- 津市大里窪田町(延長0.8km)の調査設計等を推進。



令和6年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 北勢IC(仮称)～大安IC



令和6年度開通に向け工事が進む
北勢バイパス 国道475号BP付近



令和5年度開通に向け工事が進む
中勢道路 北玉垣高架橋付近

4. 整備効果

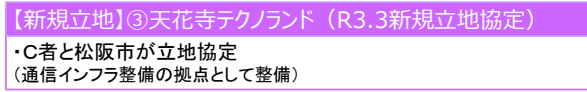
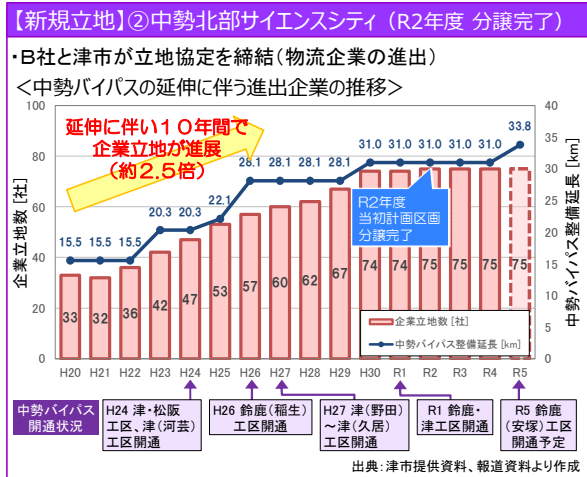
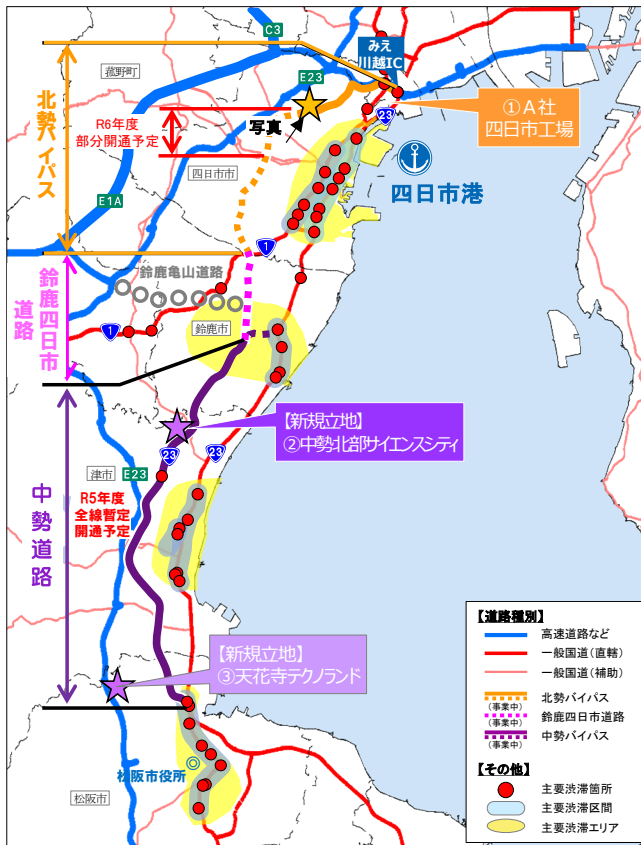
重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

(北勢バイパス・鈴鹿四日市道路・中勢道路)

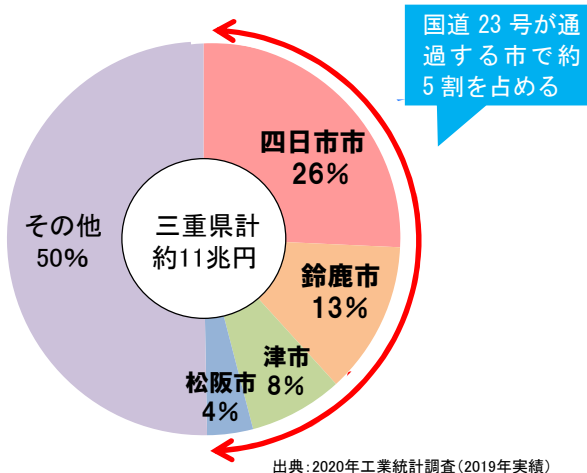
道路整備による物流効率化で地域経済の活性化を支援

- ▶ 三重県は製造業が盛んであり、製造品出荷額は、国道23号が通過する市(四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市)で三重県全体の約5割をしめている。
- ▶ 沿線では、物流企業の新規立地等、コロナ禍においても、企業の設備投資が進展。
- ▶ **中勢道路の令和5年度全線開通、北勢バイパスの令和6年度部分開通を予定。**
- ▶ 道路整備により、**四日市港への所要時間が短縮する事で物流が効率化され、地域経済の活性化に寄与。**

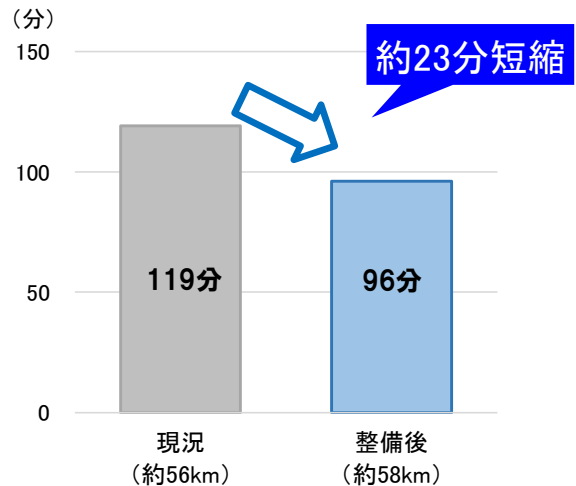
■沿線地域における企業立地・設備投資の進展



■三重県内における製造品出荷額の市町村別内訳



■松阪市内(市役所)から四日市港の所要時間



※算出方法
 ・現況(ETC2.0プローブ情報(2022年10月平日平均))
 ・整備後(未開通区間(鈴鹿四日市道路、北勢バイパス)は規制速度(60km/h)にて算出)

よっかいち かすみがうら
四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和5年度当初：16.9億円

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

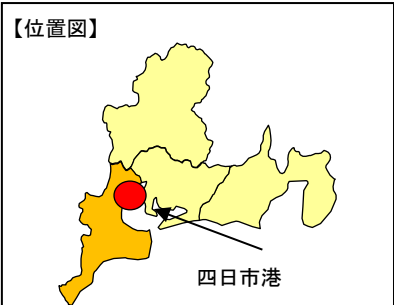
このため、霞ヶ浦地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

三重県 よっかいち 四日市市

3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



【現状】



【整備後】
霞ヶ浦北ふ頭へ
コンテナ機能の集約化



北ふ頭に係留するコンテナ船



南ふ頭に係留する自動車輸送船

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり

<コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、航路便数の増加が見込まれます。これにより、四日市港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



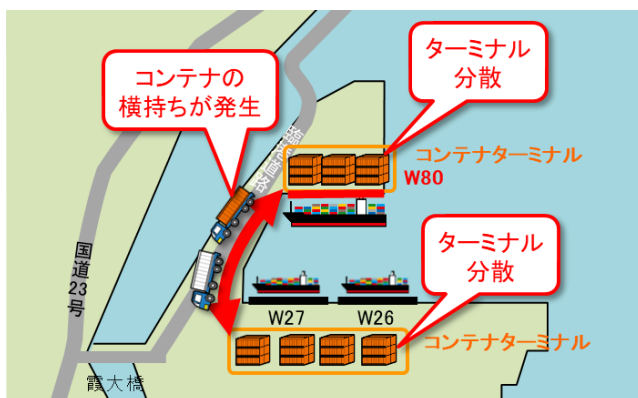
【現状】



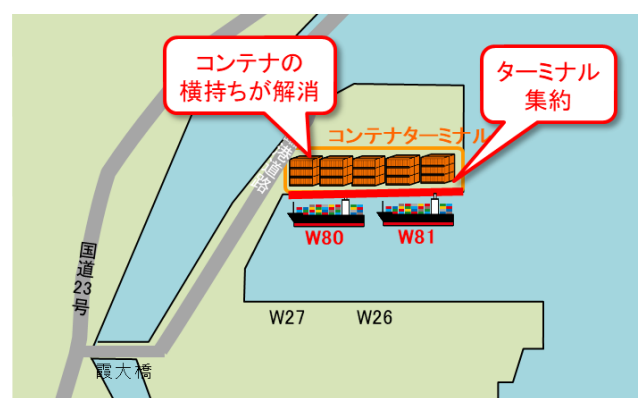
【整備後】

<ターミナルの効率化>

霞ヶ浦地区北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



【現状】



【整備後】

つまつさか
津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和5年度当初：3.6億円

海岸堤防は、整備後50年以上が経過し、老朽化が進行するとともに、天端高さが不足しており、高潮による甚大な浸水被害が懸念されています。また、地震発生時には液状化による沈下の恐れがあることから耐震化が必要となっています。

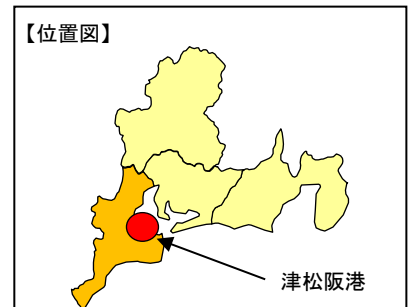
このため、津地区（栗真工区、栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）において堤防の改良を行います。

2. 事業箇所

三重県 津市

3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、堤防の老朽化対策及び耐震対策を実施します。



【整備前】



【整備後】

4. 整備効果

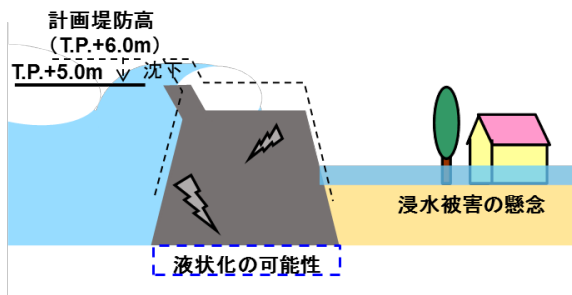
重点：①国民の安全・安心の確保

<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸堤防の計画天端高さを確保し、海岸堤防の機能を維持することで、高潮による背後地域への浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。

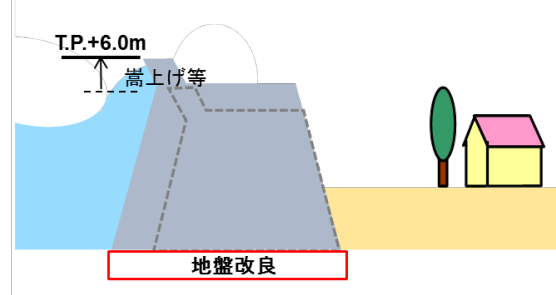
【現状】

- ・天端高不足、堤防劣化による浸水を懸念
- ・地震に伴う液状化を危惧



【整備後】

- ・堤防の機能の確保
- ・背後住民の安全、安心の確保



海岸堤防の整備に合わせて、背後地域の宅地開発が進むとともに、背後地域に企業や病院への新たな設備が投資されるなど、周辺地域の活性化が進んでいます。

阿漕浦・御殿場工区は、海浜を利用した多くのイベントが開催されている海岸であり、この地域の賑わいづくりにも寄与できるものと期待されています。



- 【凡例】
- : 堤防整備開始後の宅地開発
 - : 防護区域
 - : 堤防整備中

てんりゅうがわ やまぶき てんりゅうがわ
天竜川上流河川改修事業[山吹地区] (天竜川水系)

令和5年度当初:6.8億円

1. 事業の必要性及び概要

てんりゅうがわ
 天竜川において、戦後最大規模の洪水[昭和58年(1983)9月洪水]を安全に流下させるため、
 やまぶき やまぶき
 山吹地区河川整備事業の継続実施及び山吹地区MIZBEステーション整備に着手し、地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

しもいなぐんたかもりまち
 長野県下伊那郡高森町

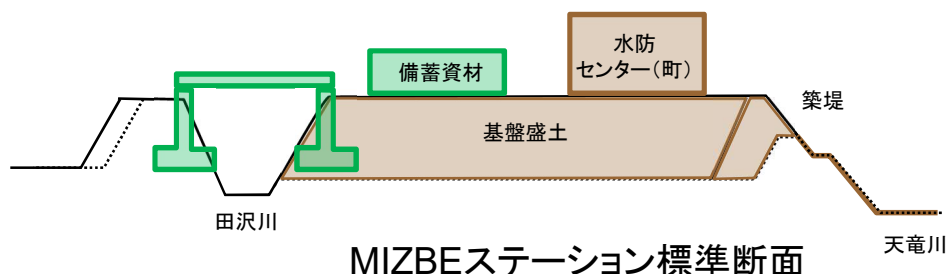
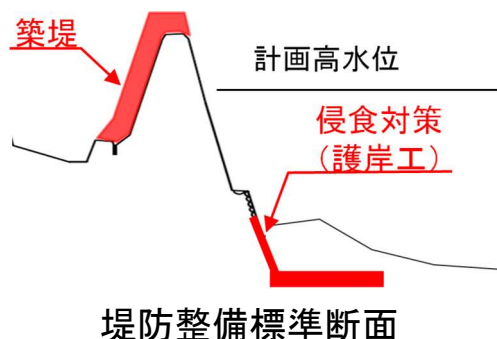
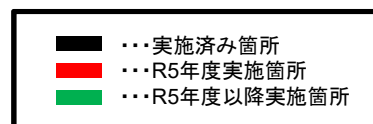
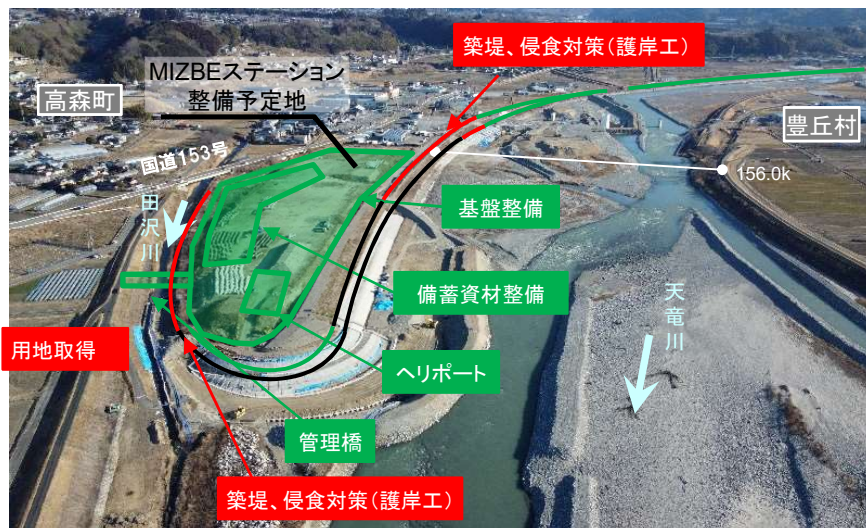
位置図



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

やまぶき
 引き続き山吹地区の築堤・侵食対策を実施することに加えて、MIZBEステーション整備に着手します。
 (山吹地区河川整備事業、MIZBEステーション整備事業)

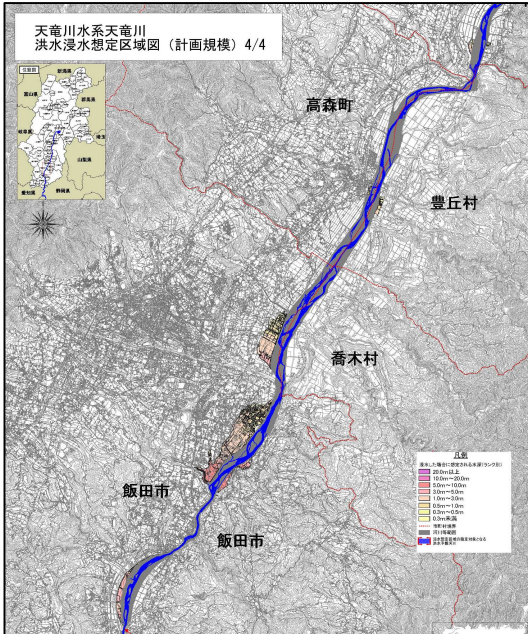
空中写真



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 天竜川上流域は、狭窄部と拡幅部が連続する急流河川で、中央構造線等多くの断層が縦断しており、崩壊しやすい地質と急峻な地形により大量の土砂が流出する特性があり、洪水時には河岸侵食などの危険性が高い区間になります。
- 天竜川上流域の下流部では、過去から規模の大きい氾濫被害が多く発生しており、ひとたび堤防が決壊した場合には、広範囲に浸水が想定され、沿川資産も大きいことから、超過洪水時の被害ポテンシャルが大きい区間になります。



天竜川上流域下流部(高森町～飯田市)
浸水想定区域図



平成18年7月豪雨河岸浸食状況



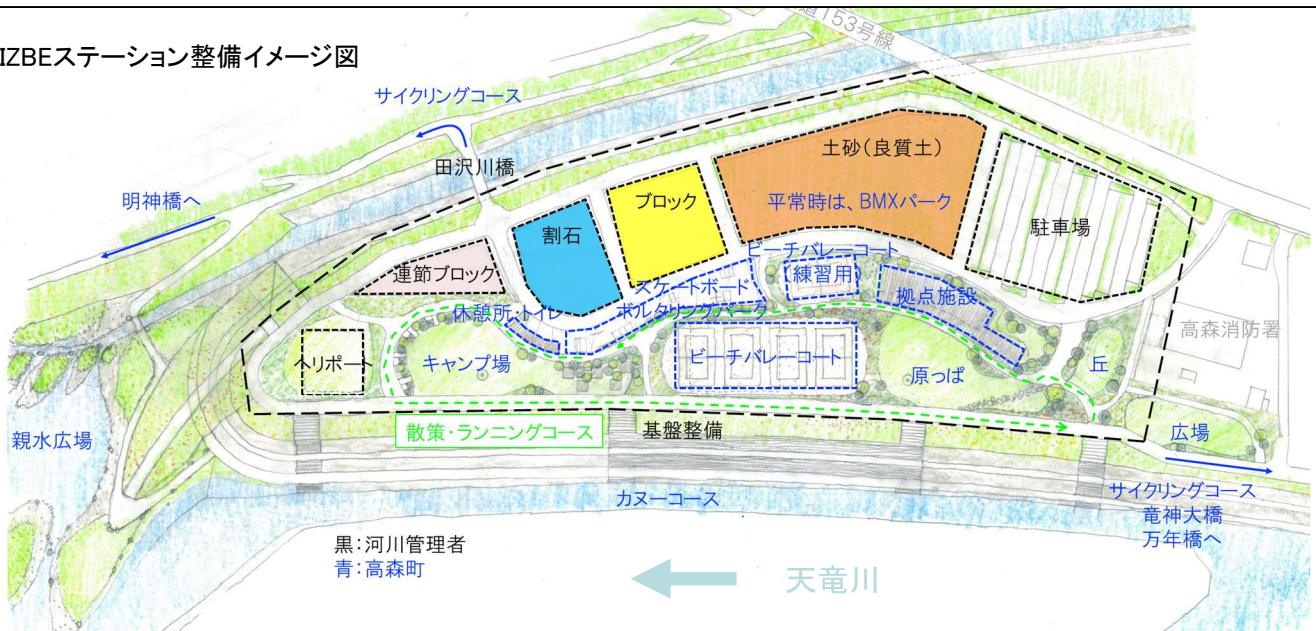
平成18年7月豪雨応急復旧状況



S58年台風10号災害浸水状況(飯田市松尾地区)

- 「MIZBEステーション」の整備により、天竜川の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うと共に、高森町が拠点施設を設置するなど地域の防災機能向上を図ります。
- 平常時においても、かわまち事業と連携し、レストランやショップ、キャンプ場などの地域活性化施設を整備し、地域の人々のレクリエーションや地域振興・賑わいの拠点となります。

MIZBEステーション整備イメージ図



みぶがわ
三峰川総合開発事業

令和5年度当初:3.7億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川流域には約166万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。美和ダムにおいては、昭和58年出水等の大洪水により、大量の土砂が貯水池に流入し、洪水調節機能や利水機能に支障が生じる恐れが生じました。

そのため、本事業では美和ダムの洪水調節機能を強化することと合わせ、ダム貯水池への堆砂を抑制し、ダム機能の保全を図ります。

2. 事業箇所

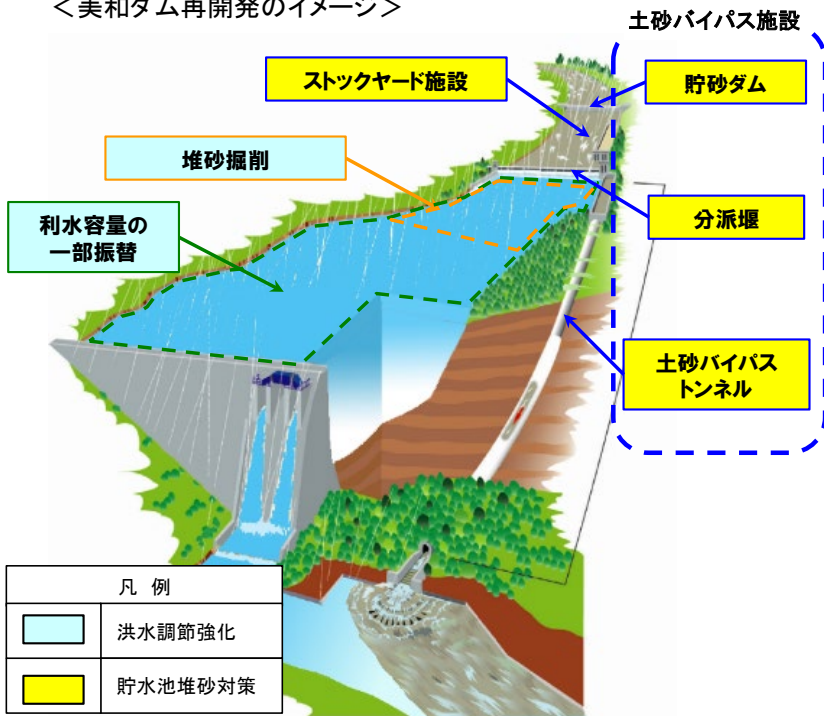
いなし てんりゅうがわ みぶがわ
長野県伊那市(天竜川水系三峰川)



3. 令和5年度実施予定内容及び現在の実施状況

堆砂対策施設(ストックヤード施設)の試験運用モニタリング等を実施し、事業完了します。

<美和ダム再開発のイメージ>



分派堰上流 貯水池堆砂対策施設



美和ダムと土砂バイパストンネル

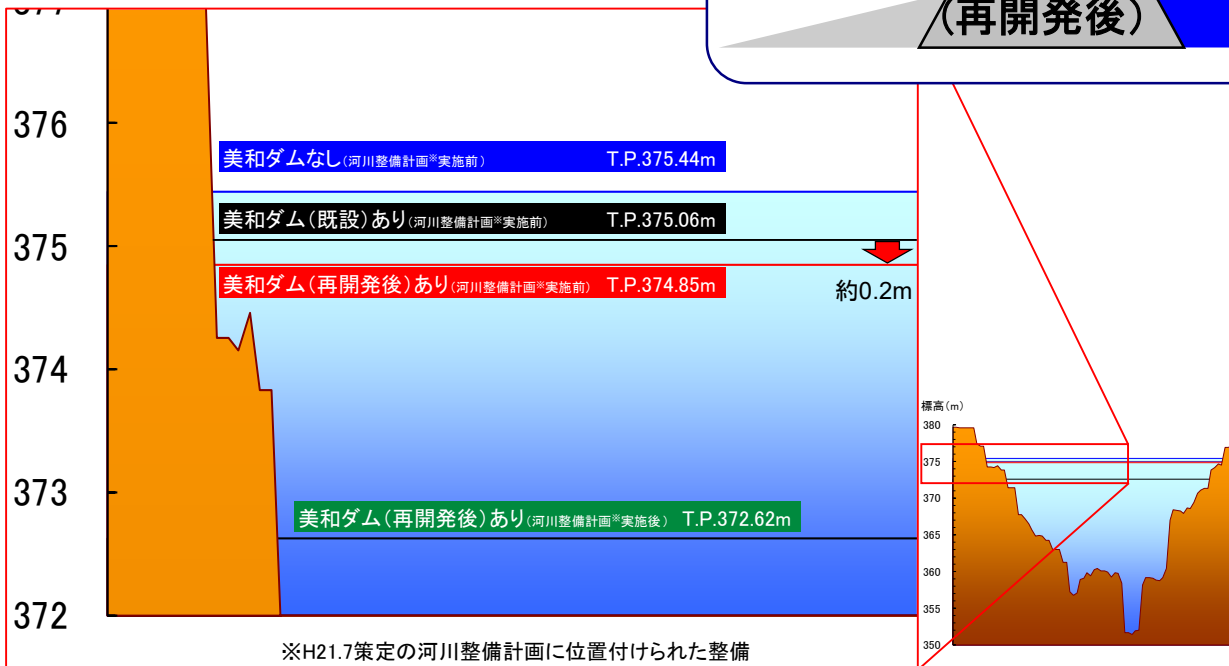
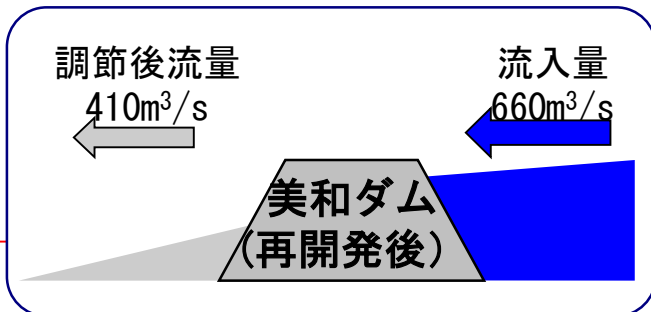
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

三峰川総合開発事業により美和ダムの洪水調節機能を強化することにより、昭和58年9月洪水と同規模の洪水(戦後最大規模相当)に対して、天竜川本川(天竜峡地点)の最大流量を約70m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.2m下げることができます。

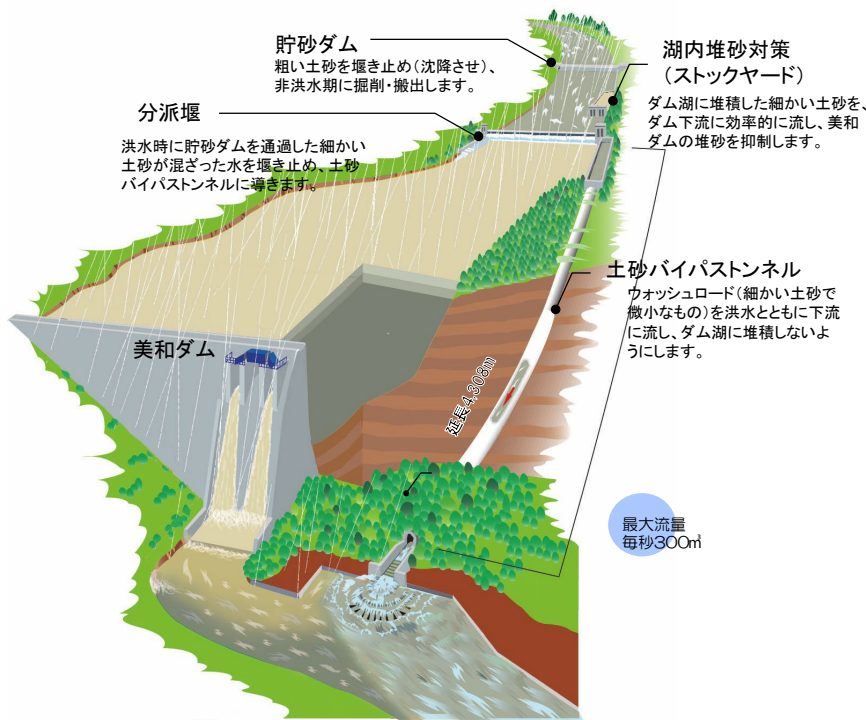
- 基準地点天竜峡(139.0KP付近)では
流量減少 約70m³/s
水位低下量 約0.2m

●ダム地点では(ピーク時)



ダム機能の保全

土砂バイパス施設(土砂バイパストネル、分派堰、貯砂ダム)の整備により、ダム貯水池内への土砂流入を抑制します。また、ストックヤード施設の整備により、ダム貯水池内への堆砂を抑制します。さらにこれらの施設により、ダム地点における土砂移動の連続性を確保します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

地域の基幹的な集落である平岡地区を中心とした天竜川中流地区内の地すべり災害安全度が向上し、地すべりによる直接被害、天竜川の河道閉塞の湛水・決壊による土砂・洪水氾濫被害を防ぎます。

■災害発生時の影響



天然ダムの決壊による被害

・開窪地区

地すべりが発生し、開窪地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒決壊による氾濫により平岡地区が被災

地すべりによる直接的な被害

・平岡地区

地すべりが発生
⇒地すべりによる直接的な被害が平岡地区に発生

天然ダム上流域の湛水による被害

・中井侍地区

地すべりが発生し、中井侍地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒天然ダム上流域の湛水により平岡地区が浸水

■近年の土砂災害



■事業実施による効果

- 地すべり土塊の滑動に伴う、居住地・道路・鉄道・発電所等インフラの直接被害の防止
- 地すべりにより河道閉塞が発生した場合の、上流の湛水、下流の氾濫に伴う間接被害の防止
- 基幹集落機能（役場機能等）の保全（平岡地区）

【主な保全対象】

重要施設：天龍村役場、天龍村診療所、平岡発電所、深見浄化センター、早木戸発電所 等

幹線：国道418号、県道1号、JR飯田線 等

保全家屋：369戸

事業所数：82箇所

国道474号 国道153号	<small>さんえんなんしん</small> 三遠南信自動車道 <small>いいだみなみ</small> 飯田南バイパス
------------------	---

令和5年度当初【三遠南信自動車道】：151.4億円

〔長野県分：72.9億円〕

【飯田南バイパス】：0.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん三遠南信自動車道は、ちゆうおうどう中央道、しんとうめい新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- いいだみなみ飯田南バイパスは生活交通と通過交通の分離による交通混雑の解消、リニア駅を中心とした道路網強化による物流・観光振興に寄与することを目的に計画された道路です。



2. 事業箇所

- さんえんなんしん三遠南信自動車道：長野県いいだ飯田市～静岡県はままつ浜松市
- いいだみなみ飯田南バイパス：長野県いいだ飯田市たけさ竹佐～飯田市きたがた北方

3. 令和5年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ さんえんなんしん三遠南信自動車道

【いいだか飯橋道路（延長22.1km）】 【あおくずれとうげ青崩峠道路（延長5.9kmのうち長野県3.3km）】

- いいだかみさかた飯田上久堅・たかぎとみだ喬木富田IC～たかぎ喬木IC間（延長7.5km）の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- こおろし小嵐IC（仮称）～みさくぼきた水窪北IC（仮称）間（延長5.9km）の改良工事、トンネル工事等を推進。

■ いいだみなみ飯田南バイパス（延長4.5km）《令和5年度新規事業化》

- 調査設計を推進。



さんえんなんしん
三遠南信自動車道
いいだか飯橋道路 たかぎ喬木地区付近



さんえんなんしん
三遠南信自動車道
あおくずれとうげ青崩峠道路 長野県側坑口

4. 整備効果

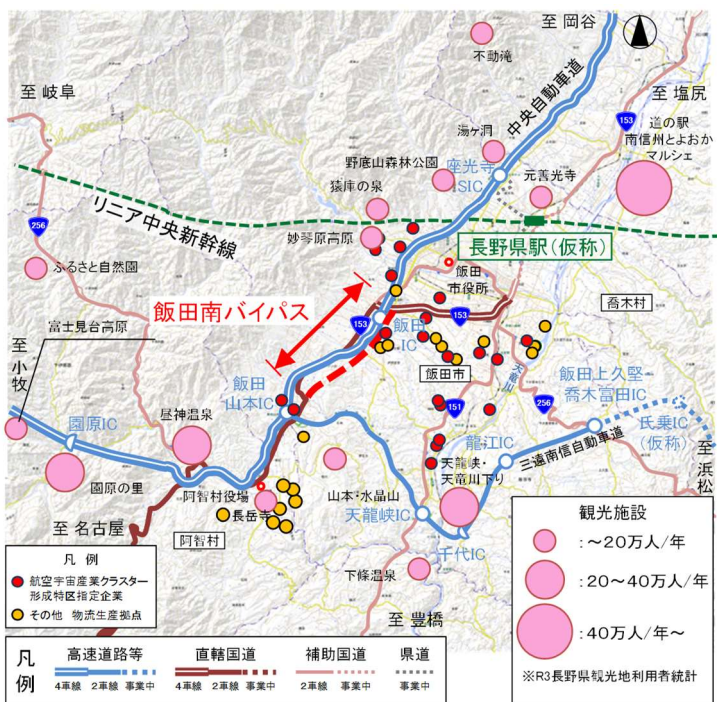
重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

(飯田南バイパス)

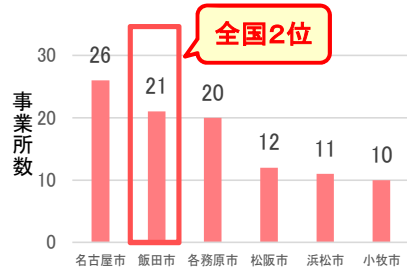
リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化を図ることで物流・観光を支援

- 飯田市は、**航空宇宙産業のクラスター形成特区指定企業の集積数が全国第2位**であり、周辺には豊富な観光資源も存在。
- 飯田南バイパスに並行する現道の国道153号では、生活道路と通過交通との混在により朝・夕の通勤時間帯で速度低下が発生。
- リニア中央新幹線の長野県駅(仮称)の開業によって、**更なる産業・観光需要の増加が見込まれ交通量の増加が想定**。
- 飯田南バイパスの整備によって、**所要時間の短縮やリニア駅を中心とした道路網のアクセスが強化され、物流・観光振興の支援が期待**。

■飯田市周辺の観光施設・物流施設の立地状況



■航空宇宙産業企業の立地数



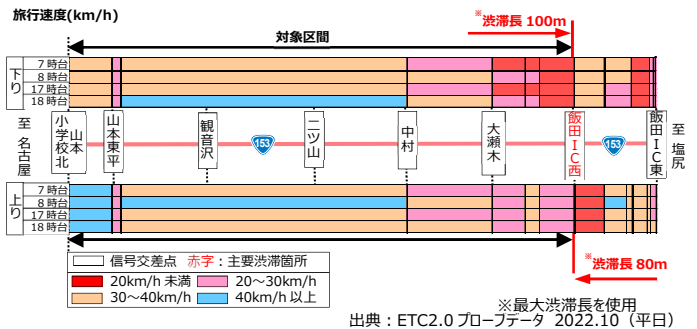
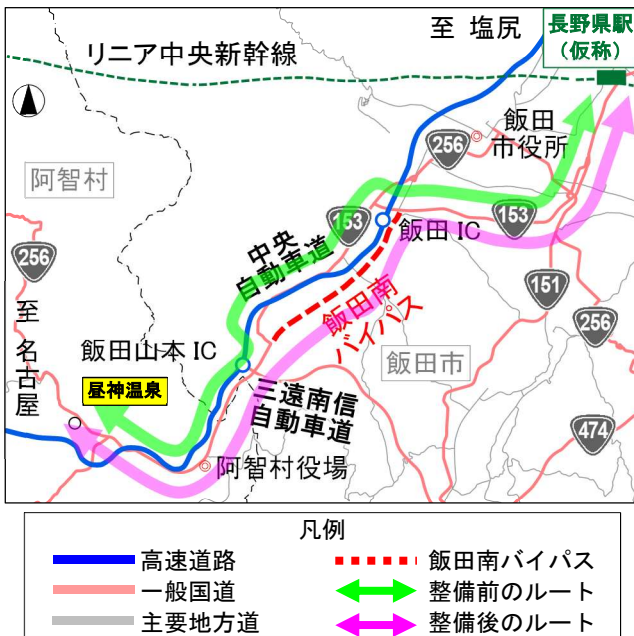
出典：アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区HP
 区域別事業者等一覧より算出 (R4.1月時点)

■飯田市周辺の観光施設 (屋神温泉)

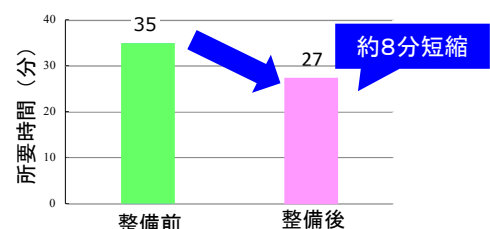


出典：南信州広域連合提供

■国道153号の交通状況



■所要時間の短縮 (リニア長野県駅~屋神温泉)



出典 現況 : ETC2.0プローブ情報(2022年10月平日平均7時台)を用いて算出
 整備後:未開通区間(飯田南バイパス)は規制速度60km/hとして算出

3-3. 施策事例（個 票）

個票一施 1

【事業主体：国】

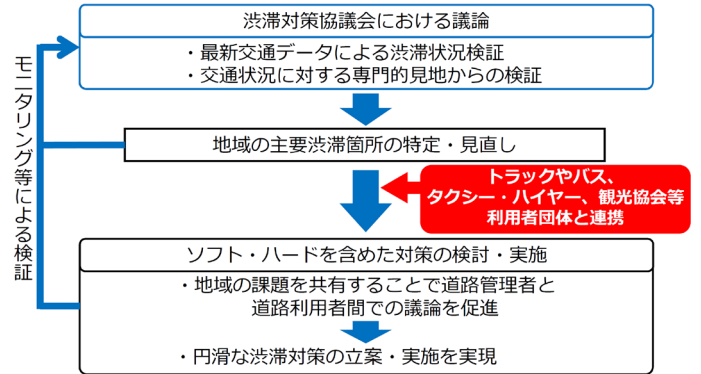
官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



2. 主な事業箇所・事業内容

国道 19 号 東町 1 交差点（岐阜県 多治見市）



《 交差点のコンパクト化及び右折レーンの延伸を予定 》

国道 246 号 長泉 IC 交差点（静岡県 長泉町）



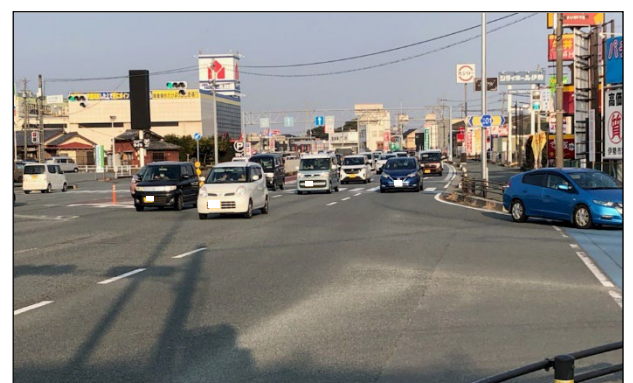
《 右折レーンの延伸を予定 》

国道 1 号 ほたる橋南交差点（愛知県 岡崎市）



《 交差点のコンパクト化及び右折レーンの延伸を予定 》

国道 23 号 小木町 1 交差点（三重県 伊勢市）



《 交差点のコンパクト化を予定 》

4. 県別の整備箇所事例一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額
河川関係	庄内川河川改修事業(多治見市 豊岡地区 庄内川豊岡地区堤防嵩上整備事業)	国	2.1億円
	木曽川下流河川改修事業(海津市 本阿弥新田地区 揖斐川海津堤防整備事業 他)	国	7.2億円
	木曽川上流河川改修事業 (大垣市 横曽根地区 木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)他)	国	32.1億円
	木曽川総合水系環境整備事業(岐阜市 東加賀野井地区 自然再生 他)	国	2.4億円
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市 豊岡地区上流部地区 水辺整備)	国	0.6億円
	新丸山ダム建設事業	国	132.5億円
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 新梨沢砂防堰堤 他)	国	11.1億円
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 寺下第3砂防堰堤改築 他)	国	5.4億円
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 百之木谷第1砂防堰堤 他)	国	17.6億円
	大谷川大規模特定河川事業(大垣市 JR橋梁移設 他)	県	3.5億円
	内ヶ谷ダム建設事業	県	37.0億円
	事業間連携砂防等事業(下呂市 越シヶ平谷 砂防堰堤工 他)	県	3.8億円
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	4.0億円
道路関係	国道158号 中部縦貫自動車道	国	44.5億円
	国道475号 東海環状自動車道	国	239.5億円
	国道 41号 高山下呂連絡道路 石浦バイパス	国	1.4億円
	国道 19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)	国	37.0億円
	国道 21号 岐大バイパス	国	12.0億円
	国道 41号 上麻生防災	国	7.2億円
	国道 41号 屏風岩改良	国	4.8億円
	国道 41号 門原防災	国	12.0億円
	国道 41号 船津割石防災	国	2.5億円
	国道156号 岐阜東バイパス	国	17.6億円
	国道156号 郡上大橋架替	国	2.0億円
	国道256号 堀越峠道路	国	0.5億円
	国道 21号 岐阜21号 交差点改良等(荒尾町交差点改良)	国	1.10億円
	国道 41号 岐阜41号 交差点改良等(神岡地区歩道整備)	国	0.05億円
	国道 156号 岐阜156号 交差点改良等(為真歩道整備)	国	1.13億円
国道258号 大垣電線共同溝	国	3.4億円	
公園関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) [木曽三川公園センター 等]	国	4.9億円

※ 用地取得等が順調な場合

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(清水町、長泉町 黄瀬川地区 黄瀬川洪水氾濫防止事業 他)	国	12.4億円	
	安倍川河川改修事業(静岡市 下河原地区 安倍川下流部河道掘削事業)	国	2.3億円	
	大井川河川改修事業(焼津市、吉田町 飯淵・川尻地区 大井川飯淵・川尻河口部河道掘削事業 他)	国	4.9億円	
	菊川河川改修事業(菊川市 半済地区 菊川本所無堤部対策事業 他)	国	5.4億円	
	天竜川下流河川改修事業(浜松市、磐田市 飯田・掛塚地区 天竜川下流部水位低下対策事業 他)	国	3.5億円	
	狩野川総合水循環環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.6億円	
	大井川総合水循環環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.2億円	
	天竜川ダム再編事業	国	8.9億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 松沢川砂防堰堤群 他)	国	8.1億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川源頭部 他)	国	30.1億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 有東木地区砂防堰堤工群 他)	国	7.4億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	21.1億円	
	沼川(上流)大規模特定河川事業(沼津市 放水路整備)	県	3.0億円	R5年度新規事業化
	事業間連携砂防等事業(藤枝市 湯谷北沢 砂防堰堤工 他)	県	6.2億円	
河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	10.1億円		
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	32.4億円	天城峠道路(月ヶ瀬～茅野) R5年度新規事業化
	国道474号 三遠南信自動車道	国	24.3億円	
	国道 1号 静岡東西道路 静岡バイパス	国	79.2億円	清水立体上り線(東京向き) R8年春頃開通予定
	国道 1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	6.0億円	
	国道 1号 富士由比バイパス	国	0.3億円	
	国道 1号 藤枝バイパス	国	28.5億円	
	国道 1号 島田金谷バイパス	国	18.9億円	旗指IC～大代IC R6年度開通予定
	国道 1号 浜松バイパス(長鶴～中田島)	国	1.0億円	
	国道138号 御殿場バイパス(西区間)	国	1.0億円	
	国道139号 富士改良	国	15.0億円	
	国道246号 裾野バイパス	国	1.0億円	
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(山中新田地区事故対策)	国	0.62億円	R5年度新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(西郷IC改良)	国	2.60億円	
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(岩井IC改良)	国	0.18億円	R5年度新規事業化
国道139号 静岡139号 交差点改良等(阿幸地交差点改良)	国	0.10億円	R5年度新規事業化	
国道139号 静岡139号 交差点改良等(富士宮地区(根原)通行空間整備)	国	0.60億円	R5年度新規事業化	
国道246号 静岡246号 交差点改良等(裾野地区歩道空間改善)	国	1.75億円	R5年度新規事業化	
国道 1号 采町地区電線共同溝	国	1.4億円		
港湾関係	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	国	15.1億円	
	清水港日の出地区岸壁改良事業	国	1.2億円	R5年度完成予定
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	1.5億円	
	清水港富士見地区岸壁改良事業	国	1.5億円	
	清水港袖師地区岸壁改良事業	国	1.2億円	R5年度新規事業化
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	1.0億円	R5年度新規事業化
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	5.2億円	
田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	2.2億円		
下田港防波堤整備事業	国	3.5億円		
海岸関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	5.5億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	9.7億円	
	相良須々木海岸津波対策緊急事業	県	1.7億円	
官庁 営繕 関係	静岡地方合同庁舎・静岡法務総合庁舎(耐震改修)	国	4.2億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額	
河川関係	豊川河川改修事業(豊橋市 暮川地区 豊川下条霞浸水被害対策事業 他)	国	3.9億円	
	矢作川河川改修事業(豊田市 混合地区 矢作川鵜の首地区水位低下対策事業 他)	国	12.6億円	
	庄内川河川改修事業(名古屋市長杖地区 庄内川特定構造物改築事業 他)	国	14.5億円	
	木曾川下流河川改修事業(愛西市 福原地区 長良川下流域しゅんせつ事業 他)	国	1.3億円	
	木曾川上流河川改修事業(一宮市 起地区 木曾川起・小信中島堤防改築事業)	国	2.6億円	
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.5億円	
	矢作川総合水系環境整備事業(西尾市、碧南市 矢作川河口部地区 自然再生 他)	国	1.7億円	
	木曾川総合水系環境整備事業(愛西市 上之輪新田等地区 自然再生 他)	国	1.5億円	
	矢作ダム再生事業	国	3.1億円	
	設楽ダム建設事業	国	153.3億円	
	柳生川大規模特定河川事業(豊橋市 地下河川整備)	県	17.3億円	
	堀川事業間連携河川事業「100ミリ安心プラン」(名古屋市長杖地区 護岸整備 他)	市	13.0億円	
	事業間連携砂防等事業(岡崎市 男川第7支川 砂防堰堤工 他)	県	7.1億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	11.0億円	
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	54.2億円	東栄IC～鳳来峡IC R7年度開通予定
	国道 23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	5.6億円	
	国道 23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	85.0億円	豊川為当IC～蒲郡IC R6年度開通予定※1
	国道 23号 名豊道路 岡崎バイパス	国	1.0億円	
	国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)	国	52.0億円	
	国道247号 西知多道路(長浦～日長)	国	8.0億円	
	国道 1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	2.4億円	
	国道 41号 名濃バイパス	国	8.5億円	南新田交差点～五郎丸交差点 R5年度開通予定
	国道153号 豊田北バイパス	国	8.0億円	
	国道153号 伊勢神改良	国	17.5億円	
	国道155号 豊田南バイパス	国	19.9億円	
	国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策	国	39.3億円	
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(豊橋地区事故対策)	国	0.30億円	R5年度新規事業化
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(ほたる橋南交差点改良)	国	0.42億円	R5年度新規事業化
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(皇崎一丁目交差点改良)	国	0.21億円	R5年度新規事業化
	国道 19号 愛知19号 交差点改良等(名古屋南部自転車通行空間整備)	国	1.00億円	
	国道 19号 愛知19号 交差点改良等(桜通歩道空間再整備)	国	0.70億円	R5年度新規事業化
	国道 22号 愛知22号 交差点改良等(名古屋中部地区自転車通行空間整備)	国	0.93億円	R5年度新規事業化
国道 41号 小牧電線共同溝	国	3.8億円		
国道302号 鳴海Ⅱ共同溝	国	10.0億円		
港湾関係	名古屋港ふ頭再編整備事業	国	131.2億円	
	名古屋港金城ふ頭地区岸壁改良事業	国	1.0億円	
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	0.6億円	
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	2.0億円	
	衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.4億円	
	衣浦港豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	2.5億円	
衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	0.4億円		
海岸関係	田原海岸津波対策緊急事業	県	4.0億円	
	海岸メンテナンス事業(常滑市 老朽化対策 他)	県	1.7億円	
公園関係	国営木曾三川公園 (国営公園整備事業) 〔ワイルドネイチャープラザ 等〕	国	0.1億円	
官庁宮繕関係	名古屋第4地方合同庁舎整備等事業(新築等、PFI事業)	国	0億円	R7年度完成予定
	名古屋第1地方合同庁舎(自家発電設備改修、受変電設備改修)	国	3.8億円	
	名古屋第2地方合同庁舎(自家発電設備改修)	国	0.9億円	

※1 大規模切土工事が順調に進んだ場合

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額	
河川関係	木曾川下流河川改修事業(桑名市 深谷地区 揖斐川深谷地区堤防整備事業 他)	国	15.2億円	
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 鈴鹿川下流部河道掘削事業 他)	国	5.4億円	
	雲出川河川改修事業(津市 須賀瀬地区 雲出川中流部河道掘削事業 他)	国	8.5億円	
	榑田川河川改修事業(松阪市 清水地区 榑田川清水堤防整備事業)	国	1.3億円	
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	10.0億円	
	木曾川総合水系環境整備事業(桑名市 木曾・揖斐川河口部地区 自然再生 他)	国	0.8億円	
	榑田川総合水系環境整備事業(松阪市 東黒部地区 自然再生)	国	0.2億円	
	宮川総合水系環境整備事業(玉城町 屋田地区 自然再生)	国	0.02億円	
	三滝新川大規模特定河川事業(四日市市 河道掘削工 他)	県	1.9億円	
	鳥羽河内ダム建設事業	県	8.2億円	
事業間連携砂防等事業(度会町 川上2地区 擁壁工 他)	県	5.4億円		
河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	5.5億円		
道路関係	国道 42号 熊野道路	国	36.9億円	
	国道 42号 紀宝熊野道路	国	8.0億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	117.5億円	北勢IC(仮称)~大安IC R6年度開通予定 養老IC~北勢IC(仮称) R8年度開通予定※1
	国道 1号 桑名東部拡幅	国	15.2億円	
	国道 1号 北勢バイパス	国	24.2億円	(市)日永八郷線 ~国道477号BP R6年度開通予定※2
	国道 1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業	国	9.5億円	
	国道 23号 鈴鹿四日市道路	国	5.0億円	
	国道 23号 中勢道路	国	33.0億円	鈴鹿市北玉垣町~鈴鹿市野町 R5年度開通予定
	国道 42号 松阪多気バイパス	国	5.9億円	
	国道 1号 三重 1号 交差点改良等(羽若町事故対策)	国	0.11億円	R5年度新規事業化
	国道 23号 三重23号 交差点改良等(上浜町二交差点改良)	国	0.10億円	R5年度新規事業化
	国道 25号 三重25号 交差点改良等(久我IC下りオフランプ改良)	国	1.60億円	R5年度新規事業化
	国道 25号 三重25号 交差点改良等(板屋IC改良)	国	1.50億円	
国道 42号 三重42号 交差点改良等(熊野北地区自転車通行空間整備)	国	0.30億円	R5年度新規事業化	
国道 1号 富士電線共同溝	国	2.2億円		
港湾関係	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業	国	16.9億円	
	四日市港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	1.0億円	
海岸関係	津松阪海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	3.6億円	R5年度完成予定
	上野・白塚海岸海岸保全施設整備連携事業	県	0.8億円	
	海岸メンテナンス事業(熊野市 老朽化対策 他)	県	2.6億円	
公園関係	国営木曾三川公園(国営公園整備事業)	国	0.8億円	
	【桑名七里の渡し公園 等】			
官庁宮繕関係	津地方合同庁舎(受変電設備改修、自家発電設備改修 他)	国	1.6億円	

※1 用地取得等が順調な場合

※2 トンネル工事が順調に進んだ場合

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額
河川関係	天竜川上流河川改修事業(高森町 山吹地区 天竜川山吹地区MIZBEステーション整備事業 他)	国	6.8億円
	三峰川総合開発事業	国	3.7億円
	天竜川水系直轄砂防事業(飯田市 小沢砂防堰堤改築 他)	国	47.4億円
	木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 下在砂防堰堤工群 他)	国	15.5億円
	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	4.9億円
	此田地区直轄地すべり対策事業	国	1.6億円
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	72.9億円
	国道 19号 藪原改良	国	5.3億円
	国道153号 飯田南バイパス	国	0.5億円
	国道153号 伊駒アルプスロード	国	2.8億円
	国道 19号 長野19号 交差点改良等(野尻地区交差点改良)	国	1.38億円

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額
河川関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	5.7億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R5当初配分額
道路関係	国道25号 名阪道路	国	2.1億円

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR4当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

○河川・ダム・砂防・海岸 メンテナンス事業

これまで防災・安全交付金等によって、地方公共団体が行う老朽化対策を支援してきたところですが、個別補助制度による支援に一本化し、「長寿命化計画(個別施設計画)の策定又は変更」を補助対象として、集中的かつ計画的な支援を実施します。

なお、個別補助事業の創設に伴い、以下の内容を拡充しました。

事業名	これまでの補助対象	個別補助事業の創設に伴い拡充される補助対象
河川メンテナンス事業	・河川管理施設(ダム関連施設を除く)の長寿命化計画に基づく老朽化対策等 ・機械設備及び電気設備の年点検	—
ダムメンテナンス事業	・ダム本体、放流設備、関連設備、貯水池等の長寿命化計画に基づく老朽化対策	・機械設備及び電気通信設備の年点検
砂防メンテナンス事業	・砂防関係施設の既存不適格対策等	・砂防関係施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策
海岸メンテナンス事業	・海岸保全施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策 ・老朽化調査	—

令和5年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

愛知県 めいぎ 名岐道路(一宮～一宮木曾川)

静岡県・愛知県 はまつ こさい とよはし 浜松湖西豊橋道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

愛知県 いちのみや にしこう 一宮西港道路

静岡県 しずおか なんぼく 静岡南北道路 ながぬま 長沼立体

国道23号(十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークの在り方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて神奈川県及び静岡県と連携して進めます。

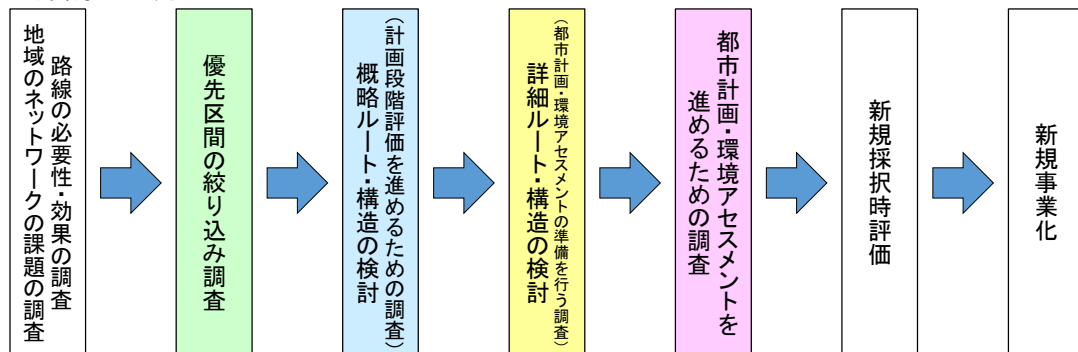
中部縦貫自動車道(平湯～日面)については、実施環境整備として詳細なルート・構造を決定するための現地調査等を推進します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞



令和5年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

交通結節点事業について、一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

また、静岡駅周辺及び津駅周辺において、関係自治体と連携し、地域の意向を把握しつつ、交通拠点における機能強化・再編の必要性等の調査を実施します。

さらに、地域の交通課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

